

SC-F6450/SC-F6450H

ユーザーズガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。

商標

「EPSON」、 「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」 は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、OS Xは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Illustrator、Reader は、Adobe (アドビ)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社 (YouTube,LLC) の商標または登録商標です。

Intel および Intel Core は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標です。

Chrome は Google LLC の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に	5	メディア取り扱い時のご注意	28
マニュアルの見方	5	メディアセット時のご注意	28
マークの意味	5	メディアのセット	28
掲載画面	5	セットしたメディアの設定	29
掲載イラスト	5	自動巻き取りユニットの使い方 (SC-F6450 はオプション)	30
マニュアルの構成	5	正しく巻き取るためのご注意	30
各部の名称と働き	7	自動巻き取りユニットへのセット	31
正面	7	印刷する	34
内部	9	メディアの取り外し	34
背面	10	メディアのカット	34
アダプター	11	巻き取ったメディアの取り外し方	34
操作パネル	12	メディアの取り外し方	35
画面の見方と操作	12	メディア設定の最適化 (プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整)	36
使用・保管時のご注意	18	プリントヘッドの位置調整	36
設置スペース	18	メディア送り調整	37
使用時のご注意	18	印刷の途中でメディア送り量を調整する	39
使用しないときのご注意	18	印刷可能領域	40
インクパック取り扱い上のご注意	19		
メディア取り扱い上のご注意	19		
ソフトウェアの紹介	21		
提供ソフトウェア (Windows)	21		
提供ソフトウェア (Mac)	22		
Epson Edge Print の使い方 (Windows のみ) ...	23	メンテナンス	43
起動方法	23	メンテナンスの種類と実施時期	43
EMX ファイルの取得と登録	23	定期メンテナンス	43
終了方法	23	消耗品の補充・交換	44
Epson Edge Dashboard の使い方	23	準備するもの	45
起動方法	23	メンテナンス作業時のご注意	45
本機の登録	24	定期メンテナンスの仕方	46
EMX ファイルのダウンロード	24	キャップとワイパーの清掃	46
終了方法	24	ブラテンの清掃	47
EPSON Software Updater の使い方 (Windows)	24	通風口の清掃	48
更新されたか確認してアップデート	24	インクパックの定期かくはん	48
アップデートの通知を受け取る	25	かくはん時のご注意	48
Web Config の使い方	25	かくはん方法	49
起動方法	25	インクパックの交換	49
終了方法	26	交換時のご注意	49
ソフトウェアの削除	26	交換方法	50
		廃インク処理	50
		廃インクボトル交換時のご注意	50
		廃インクボトルの交換	50
基本の操作	27	プリントヘッドの清掃	51
適切に印刷するための作業の流れ	27	カッターの交換	53
本機にメディア設定値を登録	27		

交換方法 53
 カッター交換時のご注意 53
 使用済み消耗品の処分 54
 プリントヘッドのノズルチェック 54
 プリントヘッドのクリーニング 55
 クリーニングの種類 55
 プリントヘッドのクリーニングの方法 55

操作パネルのメニュー 56

設定メニュー一覧 56
 設定メニューの説明 61
 本体設定メニュー 61
 メディア設定メニュー 68
 プリンターのお手入れメニュー 71
 消耗品情報メニュー 71
 交換部品情報メニュー 71
 情報確認メニュー 72

困ったときは 73

メッセージが表示されたとき 73
 メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは 74
 トラブルシューティング 75
 印刷できない（プリンターが動かない） 75
 プリンターは動くが印刷されない 75
 印刷品質/印刷結果のトラブル 77
 給紙ミス/排紙のトラブル 80
 その他 81
 お問い合わせいただく前に 81
 エプソンのウェブサイトの Q&A 81
 ファームウェアのバージョンアップ 81
 トラブルが解消されないときは 82

付録 83

消耗品とオプション 83
 インクパック 83
 その他 84
 使用可能なメディア 85
 移動と輸送 85
 移動の方法 85
 輸送の方法 85
 メディアタイプごとのメディア設定値一覧 86
 システム条件 87

Epson Edge Dashboard 87
 Epson Edge Print 88
 Web Config 88
 仕様一覧 89
 サービス・サポートのご案内 91
 各種サービス・サポートについて 91
 保守サービスのご案内 91
 お問い合わせ先 93
 製品に関する諸注意と適合規格 94

ご使用前に

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

本書に掲載している画面は実際の画面と若干異なることがあります。

掲載イラスト

本書に掲載しているイラストは、特に指定がない限り SC-F6450 です。

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー (Mac) などでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
一般情報	製品の仕様や連絡先などを記載しています。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (本書)	本機の使い方を説明しています。
Epson Video Manuals (動画)	メディアのセットやメンテナンスの方法を動画でご覧になれます。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用するための説明をしています。

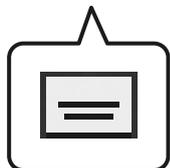
動画マニュアルの見方

動画マニュアルは YouTube にアップしています。

オンラインマニュアルのトップページから [Epson Video Manuals (動画)] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。

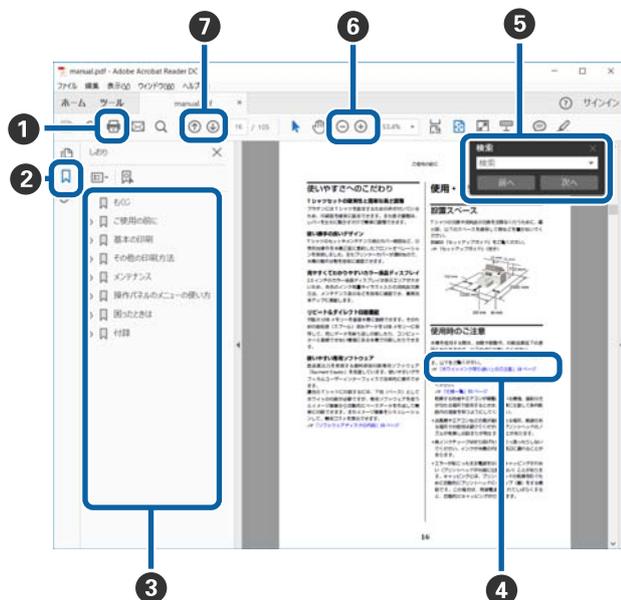
[動画マニュアル](#)

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときをクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。

- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分ををクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

Alt キーを押したまま ← キーを押します。

Mac の場合

command キーを押したまま ← キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac の場合

[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーカーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

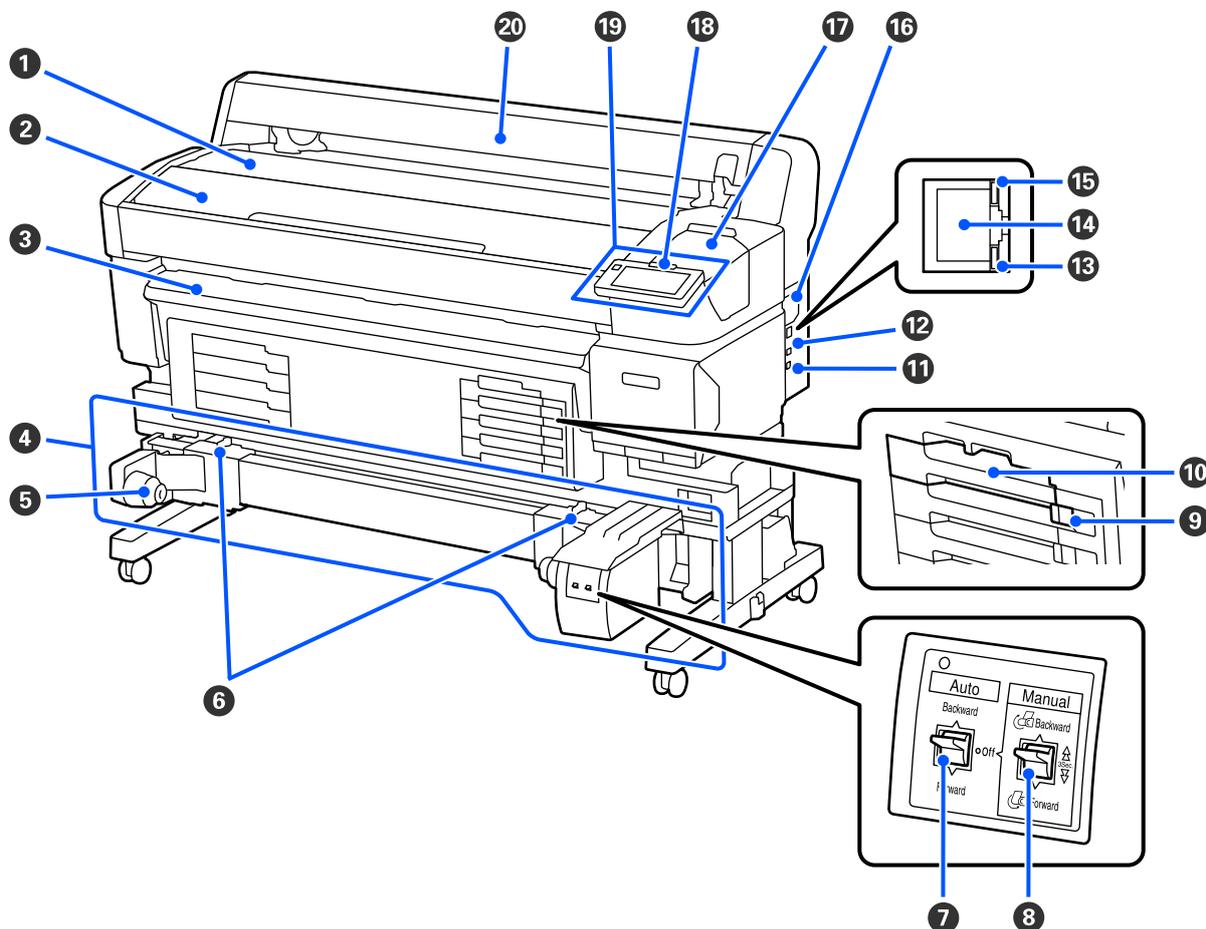
Mac の場合

[表示] メニュー - [ズーム] - [マーカーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

各部の名称と働き

正面



① メディア仮置き台

メディアのセット/取り外し時にメディアを置いてアダプターの着脱を行います。

② プリンターカバー

内部の清掃、紙詰まり時などに開けます。

③ 排紙ガイド

排紙されたメディアがスムーズに排紙されるように誘導します。

④ 自動巻き取りユニット (SC-F6450 はオプション)

⑤ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。

⑥ ロックレバー

ロックを解除して紙管ホルダーの位置を調整します。左右の紙管ホルダーにそれぞれ付いています。

⑦ Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

⑧ Manual スイッチ

手で巻き取るためのスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

⑨ ロックスイッチ

インクパケットレイを引き出すときは、ロックスイッチを右に移動してロックを解除します。インクパケットレイをセット後はロックスイッチを左に移動してロックします。

SC-F6450H には左側にもロックスイッチがあります。

⑩ インクパケットレイ

ラベルで示す色のインクパックを装着します。全てのインクパケットレイをセットしてください。SC-F6450H には左側にもインクパケットレイがあります。

⑪ Option ポート

自動巻き取りユニット用のケーブルを接続します。ケーブルは付属品をご使用ください。

⑫ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑬ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : データ受信中です。

⑭ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

⑮ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

緑色 : 1000Base-T

⑯ 通風口

内部に空気を取り込みます。通風口はふさがらないでください。

1 カ月に 1 回、またはホコリが目立ったら清掃してください。

 [「通風口の清掃」 48 ページ](#)

⑰ メンテナンスカバー

キャップの清掃やワイパーの清掃時に開けます。

⑱ 大型アラートランプ

エラーが発生すると、点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。エラーの内容によって、点灯/点滅が異なります。エラーの内容は、操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

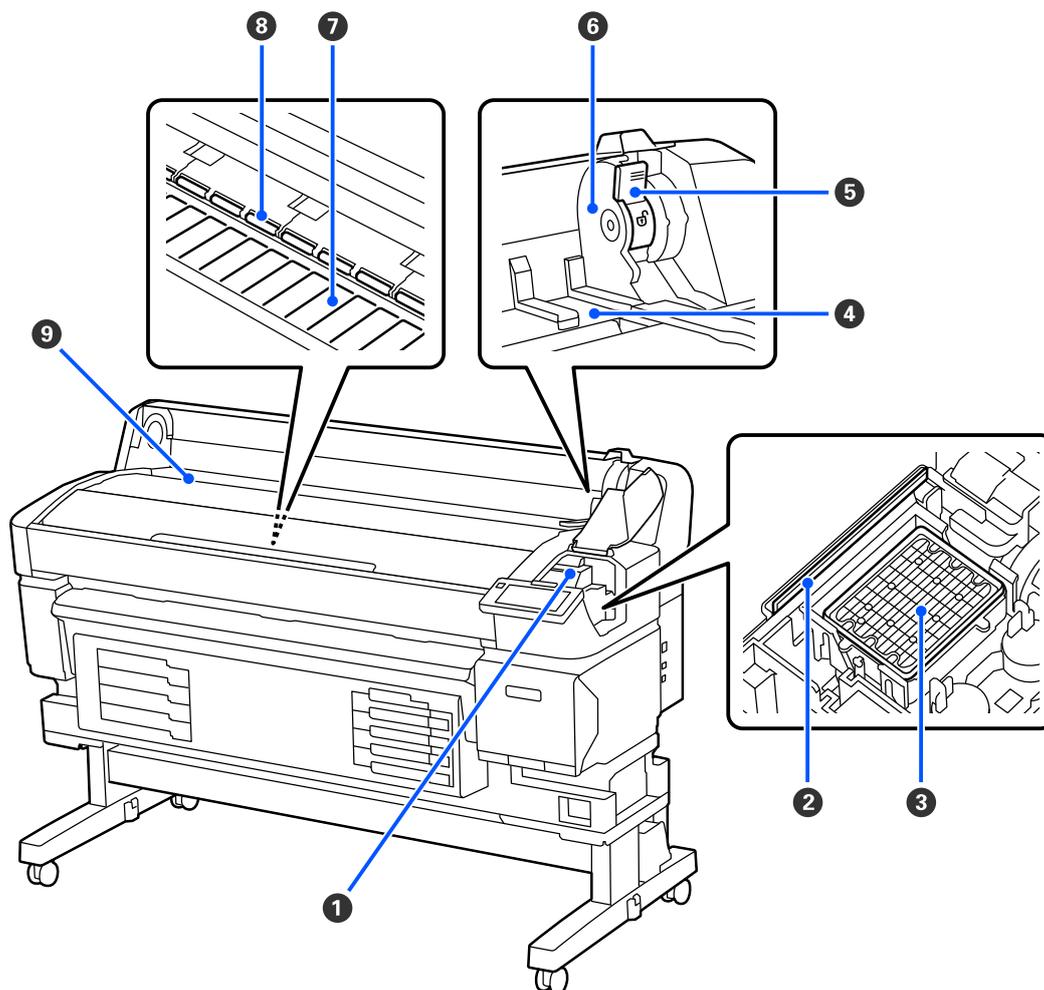
⑲ 操作パネル

 [「操作パネル」 12 ページ](#)

⑳ メディアカバー

メディアを保護するカバーです。メディアのセットと取り外しを除いて閉めた状態でお使いください。

内部



① プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。印刷結果に汚れが生じるときは清掃してください。

☞ 「インクのボタ落ちが生じるとき」 78 ページ

☞ 「横スジが入る・色がおかしいとき」 77 ページ

② ワイパー

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。

1 月に 1 回以上清掃してください。

☞ 「キャップとワイパーの清掃」 46 ページ

③ キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。

1 月に 1 回以上清掃してください。

☞ 「キャップとワイパーの清掃」 46 ページ

④ アダプターガイド

メディアを装着するときのガイドです。メディアをこのガイドに沿って移動させ、アダプターホルダーに装着します。

☞ 「メディアのセット」 28 ページ

⑤ ロールロックレバー

アダプターホルダーに装着したメディアを固定するレバーです。

⑥ アダプターホルダー

メディアをセットしたアダプターを装着します。

⑦ プラテン

この部分でメディアを吸着して印刷します。1 月に 1 回以上清掃してください。

☞ 「プラテンの清掃」 47 ページ

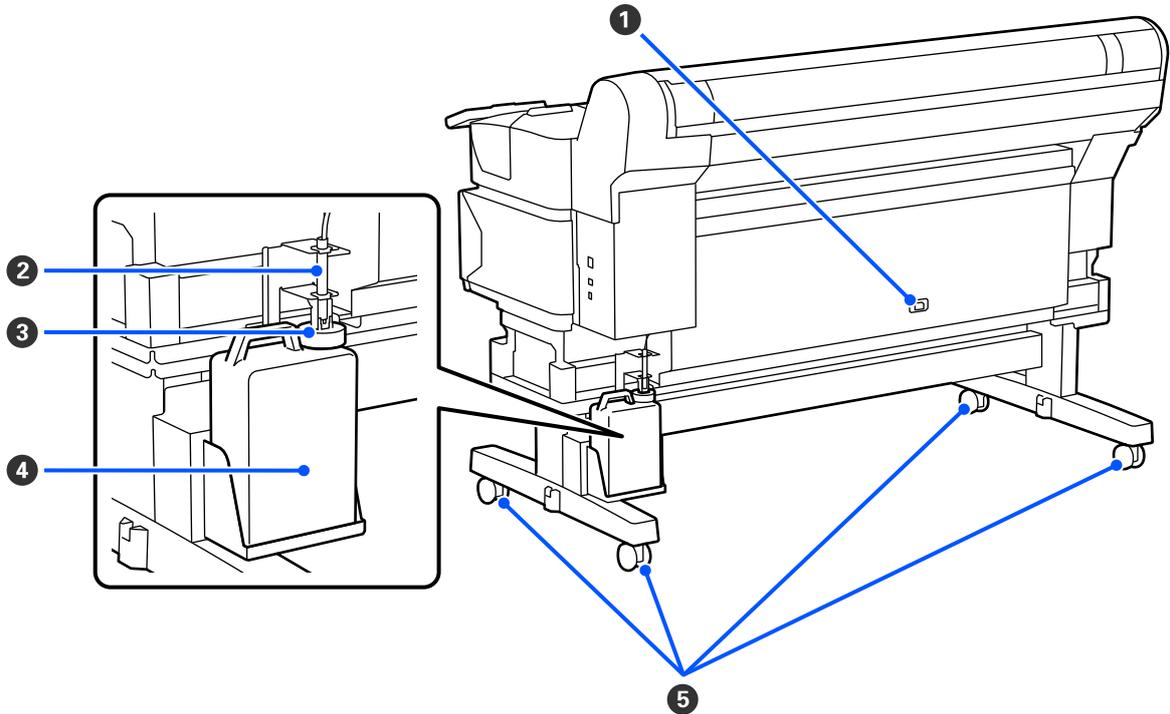
⑧ ローラー

印刷時にメディアを上から押さええます。

⑨ 給紙口

メディアを印刷するときの給紙口です。

背面



① 電源コネクター

付属の電源コードを接続します。

② 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

③ ストッパー

廃インクを排出するときの飛び散りを防ぎます。廃インクボトルの交換時以外は廃インクボトルの口に密着した状態で使用してください。

④ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

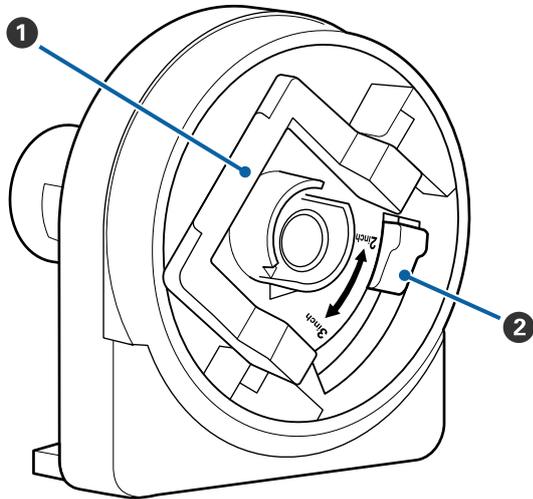
⑤ キャスター

左右の脚部に、2つずつ付いています。本機を設置後は、キャスターを常にロックした状態でお使いください。

アダプター

付属のアダプターは、メディアを本機にセットする際に使用します。

[📄 「メディアのセット」 28 ページ](#)



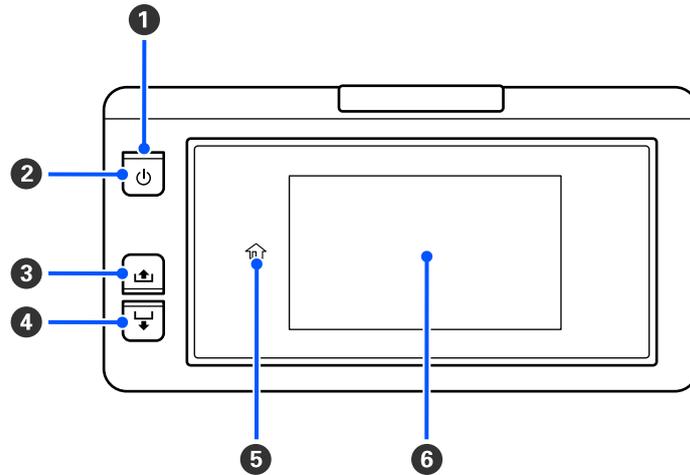
① アダプターロックレバー

レバーを起こすとロックが外れ、倒すとロックされます。メディアに取り付けるときはロックを外し、取り付けた後でロックします。

② サイズ切り替えレバー

取り付けるメディアの紙管サイズに応じて切り替えます。

操作パネル



① 点ランプ（電源ランプ）

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯：電源が入っています。

点滅：データ受信中または本機の電源を切る、プリントヘッドのクリーニングなどの処理中です。

消灯：電源が入っていません。

② 【】 ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

③ 【】 ボタン（巻き戻しボタン）

ボタンを押すとメディアが巻き戻ります。

④ 【】 ボタン（送りボタン）

ボタンを押すとメディアが送られます。

⑤ （ホーム）

メニュー操作時など（ 点灯時）にホーム画面に戻るときに押します。

本機の状態により （ホーム）が使えないときは、消灯します。

⑥ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。🔗 [「画面の見方と操作」12ページ](#)

画面の見方と操作

画面の見方

ここでは、ホーム画面の見方を説明します。

ホーム画面は以下の2つがあり、 を押すたびに切り替わります。

ホーム画面（状態表示）

本機の現在の状態を確認できます。

ホーム画面（印刷時調整）

主要な調整値を手早く変更できます。印刷中にも調整ができます。

ホーム画面（状態表示）



① **メニュー**（メニュー）

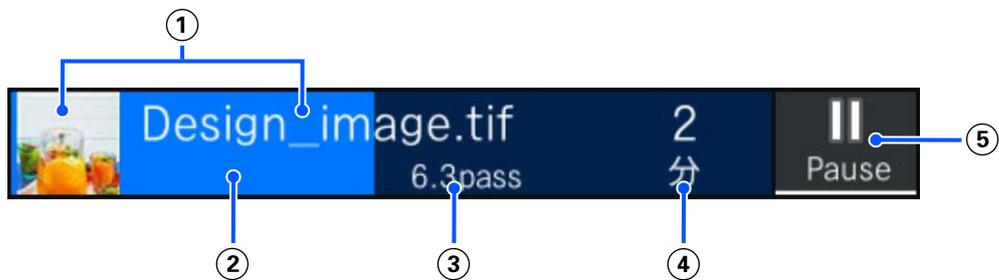
設定メニューが表示されます。

📖 [「操作パネルのメニュー」56 ページ](#)

② **状態表示エリア**

本機の状態や警告の通知が表示されます。本エリアには最新の警告通知のみが表示されます。全ての警告通知を確認するときは **i** を押して確認できます。

印刷ジョブを受け付けると、表示内容が下図のように変わります。表示の見方は以下の通りです。



① 印刷中の画像のプレビューとファイル名を示しています。

② 印刷の進捗を示すプログレスバーです。

③ メディアの印刷済み長さ、メディアの印刷残り長さ、メディア交換までの時間、パスモードのいずれかを示しています。

印刷中に表示エリアを押すと、③の表示内容を設定する画面が表示されます。表示させたい項目を1項目選択してください。

メディア交換までの時間は、目安の時間が表示されます。

④ 印刷完了までの推定時間です。

⑤ ポーズ(一時停止)ボタンです。

③ メディア情報

現在選択中の登録メディアの番号・名称と現在セットしているメディアの幅が表示されます。[残量管理]を[オン]に設定しているときは、セットしているメディアの残量も表示されます。このエリアを押すと設定メニューの[メディア設定]が表示され、別の登録メディア番号に変更したり、選択している登録メディア番号の設定を変更したりできます。

④ 消耗品の状態

インクパックなどの消耗品の残量の目安や状態が表示されます。このエリアを押すと、より詳細な残量の目安や各消耗品の型番を確認できます。

各表示の見方は、以下の通りです。



インクパックの状態

インク残量の目安を示しています。インク残量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットはインク色の略号です。略号とインク色の対応は以下の通りです。

お使いのプリンターやインクにより表示される色が異なります。

HDK : 高濃度ブラック

Y : イエロー

M : マゼンタ

C : シアン

LM : ライトマゼンタ

LC : ライトシアン

OR : オレンジ

V : バイオレット

FY : 蛍光イエロー

FP : 蛍光ピンク

インクパックの状態により、以下の通りバーの部分の表示が変わります。



: インクが残り少ないため、新しいインクパックの準備が必要です。



: インク残量が限界値以下です。新しいインクパックと交換してください。



: インクパックのかくはん時期です。インクパックトレイを引き出してかくはんしてください。



廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安を示しています。空き容量が少なくなるとバーが低くなります。



: 廃インクボトルがもう少しで満杯になります。新しい廃インクボトルの準備が必要です。

⑤ 環境温度・湿度・時刻

現在の温度・湿度・時刻が表示されます。適切な環境条件下で使用しないと正しく印刷できないことがあります。

⑥ 保守/定期クリーニングの実施時期予告

保守/定期クリーニングが実施されるまでの残りの印刷時間、印刷ページ数、印刷長のどれかが表示されます。

必要に応じてこのエリアを押して任意にプリントヘッドのクリーニングが行えます。

また、電源を入れ直すと予告表示にかかわらず保守クリーニングが実施されることがあります。

7  (プリンター状態)

警告通知があるときは、 のように右肩に  が付きます。このエリアを押して表示される画面で [メッセージ一覧] を押すと、警告通知の一覧画面が表示されます。一覧で各項目を押すと、対処方法や詳細情報を確認できます。警告に応じて対処したものは、一覧から消去されます。

8  (プリンターのお手入れ)

画面にプリンターのお手入れメニューが表示され、プリントヘッドのメンテナンスや消耗品の交換などが行えます。

9  /  (接続状態切り替え)

本機とコンピューターの接続状態がオンかオフを以下の通りアイコンで示します。

接続オン : 

接続オフ : 

このエリアを押すたびに接続オン/接続オフが切り替わります。

例えば、プリントヘッド周辺の清掃を行った後でノズルチェックパターンを印刷したり、プリントヘッドのクリーニングをしたりと、いくつかのメンテナンス作業を続けて行いたいときなどは、各作業の合間にジョブが受け付けられるのを防ぐために、事前に接続オフにしてからメンテナンス作業を行うと効率よく作業を完了できます。

なお、本機の動作状態によっては切り替えられないときがあります。この場合はアイコンの色がグレーに変わって (グレーアウト) 機能が無効なことを示します。

10  (画面切り替え)

このエリアを押すたびに、ホーム画面 (状態表示) とホーム画面 (印刷時調整) が切り替わります。

11  (カット)

メディアを内蔵カッターで手動カットするときに押します。

[☞ 「メディアのカット」 34 ページ](#)

12  (メディアのセット、取り外し)

メディアをセットするときや取り外すときに押します。

[☞ 「メディアのセット」 28 ページ](#)

[☞ 「メディアの取り外し方」 35 ページ](#)

ホーム画面 (印刷時調整)

以下では、ホーム画面 (状態表示) と異なる部分のみを説明します。各調整は、印刷中でも値を変更できます。調整した結果は現在選択しているメディア設定に登録されます。



① パスごとの乾燥時間の調整

現在選択している登録メディア番号の選択されているパスモードに設定されている [パスごとの乾燥時間] の設定値が表示されます。以下を押して値を直接変更できます。

 : 表示時間より短くしたいとき

 : 表示時間より長くしたいとき

② メディア送り補正

印刷途中でバンディングを補正したいときは、このエリアを押してメディア送り補正を行います。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので、+方向に補正します。逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので-方向に補正します。値は送り量の何% +または-に補正しているかを表しています。

③ 吸着力の調整

プラテンがメディアを吸着する強度を設定します。設定値が大きいほど吸着力が強くなります。

通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。プラテン上でメディアが波打っているときには、設定値を大きくしてください。

薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには設定値を小さくしてください。

 /  を押すと値を変更できます。

④ 搬送テンションの調整

印刷中にメディアにしわが寄るときは、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。

 /  を押すと値を変更できます。

操作方法

ホーム画面の黒地のエリアは表示エリアで押しても反応しません。グレーのタイル状のエリアは操作エリアで押すと画面が遷移したり値が変わったりします。

画面上部の各機能ボタンは、本機の動作状態によっては機能を実行できないときがあります。機能を実行できないときは、アイコンの色がグレーに変わり（グレーアウト）ボタンを押しても反応しません。



操作エリアは、押して操作します。しかし、以下のようにスクロールバーが表示されているときは指を上下に動かして（スライド）画面をスクロールできます。スクロールはスクロールバー上下のアイコンを押して行うこともできます。



ご使用前に

メッセージの画面などに以下の「操作方法を見る」ボタンがあるときは、このボタンを押して操作方法のガイドを見ることができます。

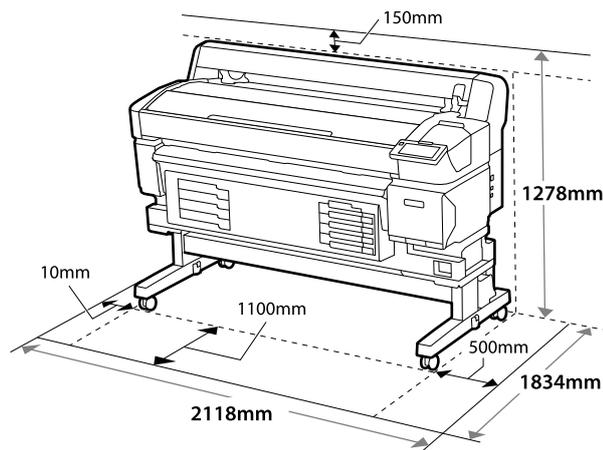


使用・保管時のご注意

設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。

📄「仕様一覧」89ページ



使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。📄「仕様一覧」89ページ
ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディアの環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアルをご覧ください。
また、乾燥する地域やエアコンが稼働している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 作業スペースを清潔に保ってください。ホコリや塵がプリンターの内部に入ると、製品の故障やプリントヘッドのノズルの目詰まりやメディア搬送品質が低下する原因となります。
- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- 十分に換気できる場所で使用してください。

- エラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（ふた）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあります。
- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもプリントヘッドのクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。
- 安定した色合いで印刷したいときは、15～25℃の環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

- 印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、6週間に1度は電源を入れてください。
電源を入れると、起動後に自動でプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドのクリーニングが終了するまで電源を切らないでください。
電源を入れずに放置すると、故障の原因となります。修理が必要な際は、有償となります。
- 上記の運用ができないときは、サービスエンジニアによる事前と事後のメンテナンスが必要です。事前・事後メンテナンスは有償となります。
なお、事前メンテナンスを実施しても、保管期間や環境などによっては事後メンテナンスの際に修理が必要になることがあります。
修理が必要な際は、有償となります。
お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご連絡ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 📞「お問い合わせ先」93ページ

- メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりして給紙不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時はメディアを取り外してください。
- プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

参考

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。
また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくようにしてください。
プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。
- 本機を長期間使用しなかったときは、電源を入れると良好な印刷品質を保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されることがあります。
プリントヘッドのクリーニングが終了するまでに5～7分程かかります。
- 以降の「インクパックの取り扱い上のご注意」も合わせてご覧ください。

インクパック取り扱い上のご注意

インクパックは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- 購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクパックをお早めにご準備ください。
- インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ることをお勧めします。
 - インクパック個装箱に印刷された推奨使用期限
 - インクパックをインクユニットに装着した日から1年
- インクパックを寒い所から暖かい所に移したときは、4時間以上室温で放置してからお使いください。

- インクパックのICチップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクパックはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、交換のメッセージの前に取り外しても再装着して使用できます。
- インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓をする必要はありません。
- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。
- インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパックからインクが漏れることがあります。
- 本機に装着したインクパックは、高濃度ブラックは1週間に1度、その他の色は3週間に1度、取り外してよく振ってください。
[🔗 「かくはん方法」49ページ](#)
- インクの特性上、インクパックの色が変わることがあります。品質に問題ありません。

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、捨てないでください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねたり巻き取ると印刷面が傷つくことがあります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って保存してください。

ソフトウェアの紹介

本機のソフトウェアは Windows と Mac で提供方法や内容が異なります。

[🔗 「提供ソフトウェア \(Windows\) 」 21 ページ](#)

[🔗 「提供ソフトウェア \(Mac\) 」 22 ページ](#)

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、Windows 用にエプソン製ソフトウェア RIP 「Epson Edge Print」が付属しています。

エプソンのウェブサイトでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。

<https://www.epson.jp>

提供ソフトウェア (Windows)

本機を有効に使うためのソフトウェアを製品に付属の以下の光ディスクやエプソンのウェブサイトで提供しています。本機内蔵のソフトウェアもあります。

• ソフトウェアディスク

• Epson Edge Print

[🔗 「Epson Edge Print の使い方 \(Windows のみ\) 」 23 ページ](#)

ソフトウェアディスクで提供しているソフトウェア

お使いのコンピューターにディスクドライブが搭載されていないときは、<https://epson.sn> からインストールします。各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

ソフトウェア名称	概要
EPSON Software Updater	<ul style="list-style-type: none">インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルをアップデートできます。プリンターファームウェアの更新情報を通知します。最新のファームウェアをウィザードに従って、ダウンロードして更新できます。
Epson 通信ドライバー	Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print 使用時または、市販 RIP を使用してコンピューターと本機を USB 接続するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

Epson Edge Dashboard (エプソンのウェブサイトで提供)

インストール後は常駐ソフトとして働きます。エプソンプリンターに対して以下の管理が行えます。

• 市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。

• エプソンが提供する印刷設定ファイル (EMX ファイル) をインターネット経由でダウンロードできます。市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、ダウンロードした EMX ファイルを市販のソフトウェア RIP でインポートして使います。

• Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。

• コンピューターから簡単にメディア設定値の設定や変更をしてプリンターに書き出せます。

[🔗 「Epson Edge Dashboard の使い方」 23 ページ](#)



EMX ファイルで提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります。

Web Config（本機内蔵）

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。

ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。

[🔗 「Web Config の使い方」 25 ページ](#)

提供ソフトウェア（Mac）

付属の光ディスクは Windows 専用です。Mac 用には以下の 2 種類のソフトウェアを提供しています。

Epson Edge Dashboard（エプソンのウェブサイト提供）

インストール後は常駐ソフトとして働きます。以下の機能があります。

- プリンターファームウェアの更新情報の通知とアップデートが行えます。
- 市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。
- エプソンが提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）をインターネット経由でダウンロードできます。ダウンロードした EMX ファイルは、市販のソフトウェア RIP でインポートして使います。
- Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。
- コンピューターから簡単にメディア設定値の設定や変更をしてプリンターに書き出せます。

[🔗 「Epson Edge Dashboard の使い方」 23 ページ](#)



EMX ファイルで提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります。

Web Config（本機内蔵）

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。

ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。

[🔗 「Web Config の使い方」 25 ページ](#)

Epson Edge Print の使い方 (Windows のみ)

起動方法

以下のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックする。
- Windows のスタートボタン - [すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson Edge Print] の順にクリックする。

使い方の詳細は、Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

EMX ファイルの取得と登録

お使いのメディアに適切に印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報を本機と Epson Edge Print に登録する必要があります。

エプソンが提供する印刷設定ファイル (EMX ファイル) を使えば、使用する市販メディアに最適な印刷品質を簡単に実現できます (提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります)。

EMX ファイルの詳細は以下をご覧ください。

[🔗 「本機にメディア設定値を登録」 27 ページ](#)

Epson Edge Print では、以下の作業をウィザード形式で簡単に行えます。

- EMX ファイルのダウンロード
- プリント情報を Epson Edge Print に自動で登録
- メディア設定値を本機の指定した登録メディア番号に登録

EMX ファイルを取得・登録する方法の詳細は、Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

終了方法

画面左上の [ファイル] から [終了] を選択します。

Epson Edge Dashboard の使い方

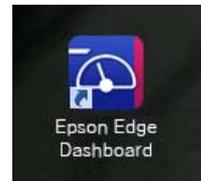
起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

1 次のどちらかの方法で起動します。

Windows

- デスクトップの [Epson Edge Dashboard] アイコンをダブルクリックします。 [Epson Edge Dashboard] アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。



- [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] の順にクリックします。

Mac

- デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard] アイコンの順にダブルクリックします。

2 Epson Edge Dashboard が起動します。

使い方の詳細は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

本機の登録

Epson Edge Dashboard は登録したプリンターに対して監視・管理やメディア設定のコピーができます。

Windows では、本機が自動登録されるので、Epson Edge Dashboard を起動後すぐに監視・管理を行えます。自動登録されないときは、以下の条件で本機を使用しているか確認してください。

- 本機に付属の通信ドライバーがコンピューターにインストールされている
- コンピューターと本機が接続されている
- 本機が使用できる状態になっている

Mac は自動登録されません。Epson Edge Dashboard を初めて起動したときはプリンターの登録画面が表示されるので手動で登録してください。詳細は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

EMX ファイルのダウンロード

お使いのメディアに適切に印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報を本機と市販のソフトウェア RIP に登録する必要があります。エプソンが提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）を使えば、使用する市販メディアに最適な印刷品質を簡単に実現できます。（提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります）

EMX ファイルの詳細は以下をご覧ください。

 [「本機にメディア設定値を登録」 27 ページ](#)

EMX ファイルをダウンロードした後は以下の作業が必要です。

- メディア設定値を本機にコピーする。
詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。
- 市販のソフトウェア RIP にプリント情報（印刷設定）をインポートする。
詳細は、お使いのソフトウェア RIP のマニュアルをご覧ください。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。ただし、Epson Edge Dashboard は常駐アプリケーションですので動作は終了しません。

EPSON Software Updater の使い方 (Windows)

更新されたか確認してアップデート

1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

2 EPSON Software Updater を起動します。

Windows 8.1/Windows 8

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1/Windows 8 以外

スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3** お使いのプリンターを選択し、 をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。



- 4** アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで、インストールボタンをクリックするとインストールが開始されます。



ファームウェアアップデーターが表示されたときは、最新のファームウェアがあります。ファームウェアアップデーターを選んでインストールボタンをクリックすると、ファームウェアアップデーターが自動で起動し、プリンターファームウェアの更新が行われます。
画面の指示に従って操作してください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

アップデートの通知を受け取る

- 1** EPSON Software Updater を起動します。
- 2** 【確認の間隔設定】 をクリックします。
- 3** 本機の【間隔】の欄で更新の確認を行う間隔を選択して【OK】 をクリックします。

Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターで起動します。

- 1** 本機の IP アドレスを確認します。
印刷可能な状態であることを確認します。
 (メニュー) を押して [本体設定] - [ネットワーク設定] - [有線接続状態] の順に選択します。
- 2** 本機とネットワークで接続されているコンピューターで **Web** ブラウザーを起動します。
- 3** **Web** ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、【Enter】または【Return】キーを押します。

書式：
IPv4： http://本機の IP アドレス/
IPv6： http://[本機の IP アドレス]/
例：
IPv4： http://192.168.100.201/
IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows

Epson Edge Dashboard、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

- 1 本機の電源を切り、コンピューターと接続しているケーブルを外します。
- 2 ソフトウェアをインストールしているコンピューターで [コントロールパネル] の [プログラム] - [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 3 削除するソフトウェアを選択して [アンインストールと変更]（または [変更と削除]）をクリックします。
以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。XXXXX には、型番の数字が入ります。
 - EPSON SC-SXXXXX Series Comm Driver プリンターアンインストール[Epson Edge Dashboard] を選択すると、Epson Edge Dashboard を削除できます。
- 4 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリックします。
- 5 この後は、画面の指示に従ってください。
削除を確認するメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Mac

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 [Epson Edge Dashboard] を終了します。
- 2 [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard アンインストーラー] をダブルクリックします。

以降は画面の指示に従ってください。

基本の操作

適切に印刷するための作業の流れ

以下の流れに従って作業していただくと、お使いのメディアに適切に印刷できます。

1. 本機にメディア設定値を登録

お使いのメディアに最適な印刷をするためには、使用するメディアに適したメディア設定値とプリント情報をプリンターと RIP に登録する必要があります。本機では、以下の方法でメディア設定値を簡単に登録できます。

🔗 [「本機にメディア設定値を登録」 27 ページ](#)



2. メディアのセット

🔗 [「メディアのセット」 28 ページ](#)



3. セットしたメディアの設定

🔗 [「セットしたメディアの設定」 29 ページ](#)



4. 自動巻き取りユニットへのセット

メディアを巻き取りながら印刷するときは、自動巻き取りユニットにメディアを取り付けます。SC-F6450 はオプションです。

🔗 [「自動巻き取りユニットへのセット」 31 ページ](#)



5. 印刷する

🔗 [「印刷する」 34 ページ](#)

本機にメディア設定値を登録

メディア設定値の登録は以下のいずれかの方法で行います。

本機にあらかじめ登録されている汎用メディア設定値を使用する

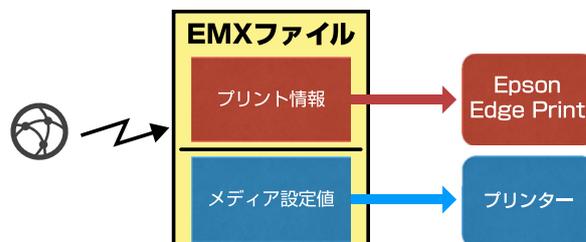
本機はメディアの坪量に応じて 3 種類のメディアタイプがあらかじめ用意されています。メディアタイプを選ぶと各坪量に合った汎用メディア設定値で印刷されます。メディアのセット後のメディア設定でセットしたメディアに応じたメディアタイプを選択してください。

🔗 [「セットしたメディアの設定」 29 ページ](#)

EMX ファイルをダウンロードして設定値を登録する

エプソンが提供する EMX ファイルは、市販メディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです（提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります）。

- プリント情報：RIP で読み込んで使う ICC プロファイルやパス数、解像度などの設定情報
- メディア設定値：お使いのメディアに適したプラテンギャップ、搬送テンションなど本機の登録メディア管理に登録する設定値



本機に付属のソフトウェア RIP Epson Edge Print をお使いのときは、Epson Edge Print から EMX ファイルをダウンロードします。

🔗 [「Epson Edge Print の使い方（Windows のみ）」 23 ページ](#)

市販のソフトウェア RIP をお使いのときは Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードします。

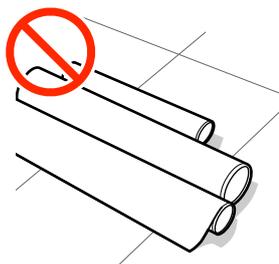
🔗 [「Epson Edge Dashboard の使い方」 23 ページ](#)

メディア取り扱い時のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱くと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや印刷結果にインクのポタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのまま直接メディアを床に置かない。

メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



メディアセット時のご注意

⚠ 注意

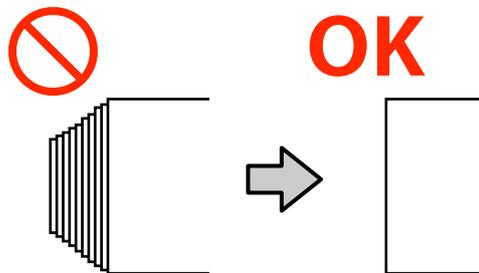
メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



使用できないメディア

折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。印刷時にメディアの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリントヘッドが破損することがあります。

下図のようにロールの端に折れ、しわ、破れなどがあるときも使用しないでください。



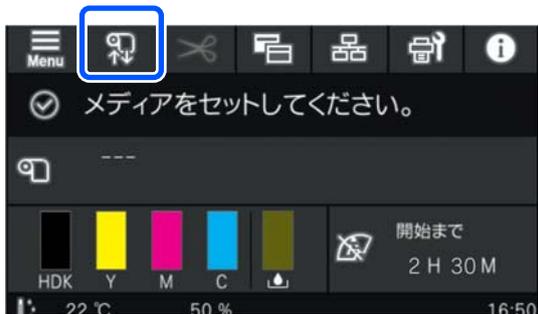
メディアのセット

以降の通り、パネルの画面で作業手順を見ながらメディアをセットできます。

YouTube の動画でもご覧いただけます。

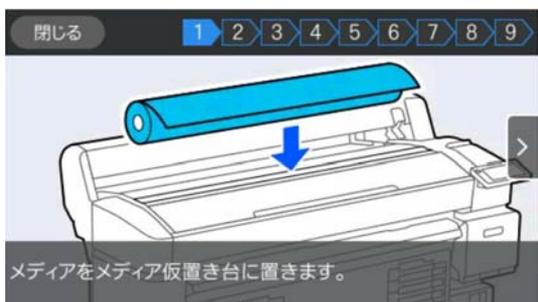
[動画マニュアル](#)

- 1 画面に「メディアをセットしてください。」と表示されていることを確認し、を押します。



- 2 画面で「開始」 - 「説明を見る」の順に押すとセット手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。



セットしたメディアの設定

セットしたメディアに対する設定を行います。

- 1 「メディア」を押してセットしたメディアに対応する登録メディア番号を選択します。



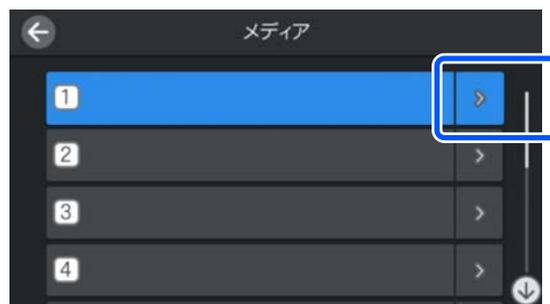
セットしたメディア用にメディア設定を登録していないとき

一旦、未登録の番号を選択します。

未登録の状態では、メディアタイプが「中薄 70g/m²」に設定されています。セットしたメディアの坪量が 61~89 g/m² のときは、このままでかまいません。

セットしたメディアの坪量と異なるときは、メディアタイプを変更します。適切なメディアタイプを選択しないと、印刷品質トラブルの原因になります。

メディアタイプを変更するときは登録メディア番号が表示された画面の - 「編集」 - 「メディアタイプ」の順に押します。



以下のようにセットしたメディアの坪量を目安としてメディアタイプを選択してください。画面に表示される各メディアタイプの坪量は、代表的な値です。

選択後は「閉じる」を押します。

メディアタイプ	坪量 (g/m ²)
薄手 50g/m ²	60 以下
中薄 70g/m ²	61~89
厚手 120g/m ²	90 以上

セットしたメディア用にメディア設定を登録している/EMX ファイルをダウンロード済みのとき

登録したメディア番号を選択します。

- 2 必要に応じて給紙時に実施する動作を設定します。



各動作の詳細は、以下の通りです。

巻き取り準備	自動巻き取りユニット装着時に表示されます。 給紙後、続けてメディアを巻き取りユニットにセットするときは [オン] にします。給紙後にメディアが巻き取り紙管付近まで送り出されます。 なお、印刷データを受信した状態のときは、自動で [オン] になります。
先端カット	セットしたメディアの先端が水平になっていないときやきれいにカットされていないときは [オン] にします。給紙開始時にメディア先端がカットされます。
先端送り	セットしたメディアの先端にメディア残量値が印刷されているときは [オン] にします。給紙開始時のメディア先端位置まで印刷部分が送り出されます。

参考

【残量管理】と【メディア検出】は、必要に応じて印刷可能な状態になった以降に設定します。

残量管理

画面の  (メニュー) を押し、【メディア設定】 - 【残量管理】の順に押し設定します。

[☞ 「メディア設定メニュー」 68 ページ](#)

メディア検出

画面の  (メニュー) を押し、【本体設定】 - 【プリンター設定】 - 【メディア検出】の順に押し設定します。

[☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

3 設定が完了したら **[OK]** を押します。

給紙が始まります。

自動巻き取りユニットを装着していないとき、あるいは【巻き取り準備】を【オフ】にしたときは以下をご覧ください。

[☞ 「印刷する」 34 ページ](#)

【巻き取り準備】を【オン】にしたときは、以下をご覧ください。

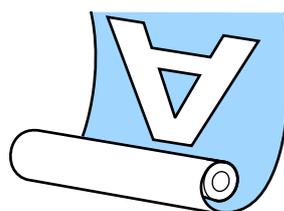
[☞ 「自動巻き取りユニットへのセット」 31 ページ](#)

自動巻き取りユニットの使い方 (SC-F6450 はオプション)

自動巻き取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。

本機の自動巻き取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。

内巻き (推奨)



外巻き



内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは本書をご覧になり、正しく作業してください。
メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するおそれがあります。
- 自動巻き取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

参考

自動巻き取りユニットの取り付け方は『セットアップガイド』(冊子)をご覧ください。

正しく巻き取るためのご注意

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意してください。

- メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。
- メディアは、内巻きで巻き取ることをお勧めします。外巻きは、メディアが蛇行して巻きずれが大きくなる場合があります。

- 下図のような巻き取り紙管は取り付けないでください。巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。

端が削れている



潰れている



- お使いのメディアやメディア幅によっては、長い距離を巻き取るとメディアが蛇行したりゆるんだりして正しく巻き取れず、巻き取りユニットエラーになることがあります。

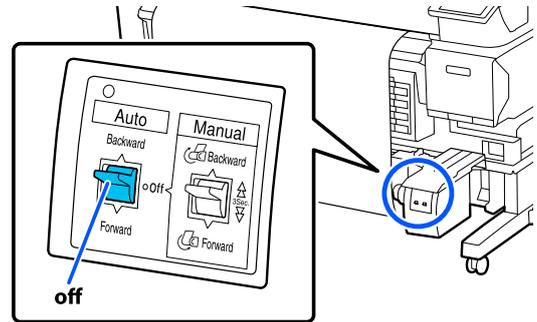
📄 「メッセージが表示されたとき」 73 ページ

自動巻き取りユニットへのセット

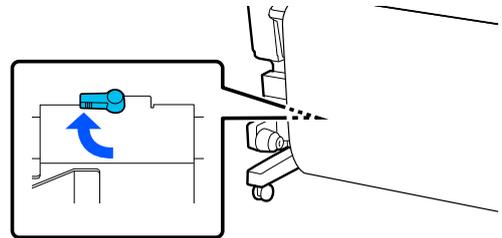
自動巻き取りユニットにメディアをセットする際は、以下のものが必要です。事前に準備をして作業を開始してください。

- メディアと同じ幅の巻き取り紙管
- 市販の粘着テープ

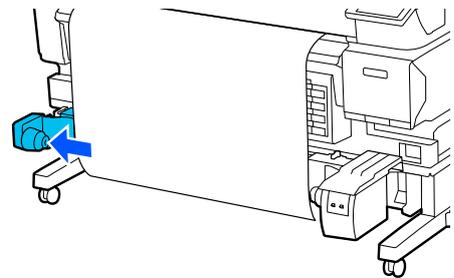
- 1 自動巻き取りユニットの **Auto** スイッチを **off** にします。



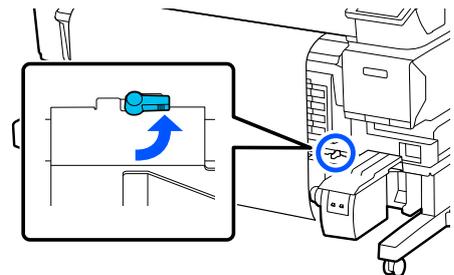
- 2 左側のロックレバーを解除します。



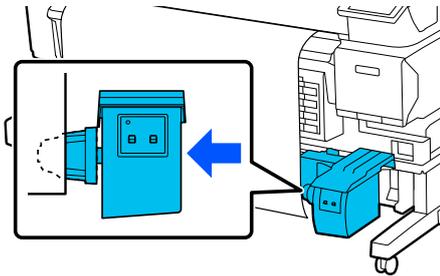
- 3 紙管ホルダーをメディアの幅より外側に移動します。



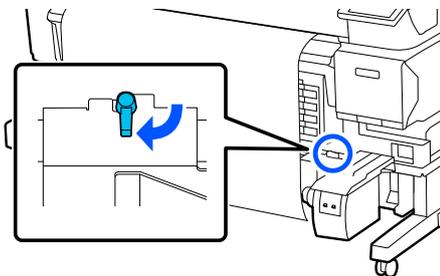
- 4 右側のロックレバーを解除します。



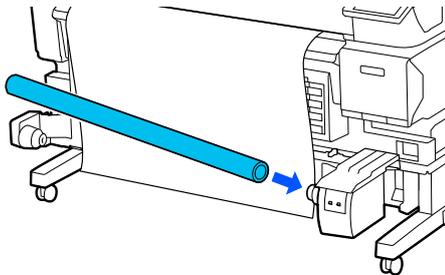
- 5 右側の紙管ホルダーをメディアの端に合わせます。



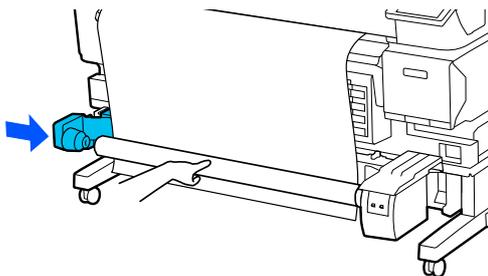
- 6 紙管ホルダーのロックレバーをロック位置にセットして紙管ホルダーを固定します。



- 7 紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



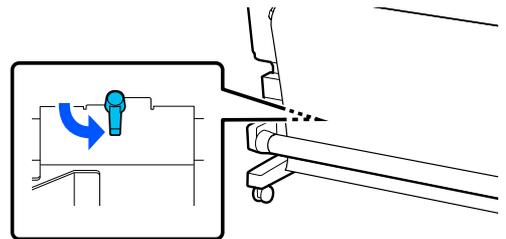
- 8 紙管ホルダーを紙管に差し込み、紙管とメディアの端が合っていることを確認します。



！重要

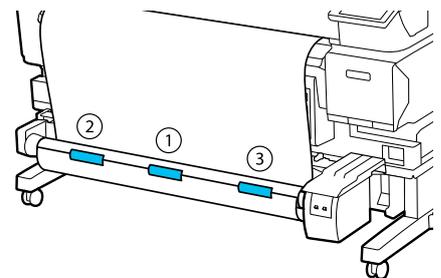
メディアの端がずれていると、メディアを正しく巻き取れません。ずれているときは、右側の紙管ホルダーのロックレバーをロック解除して、手順5からやり直してください。

- 9 左側の紙管ホルダーのロックレバーをロック位置にセットして紙管ホルダーを固定します。

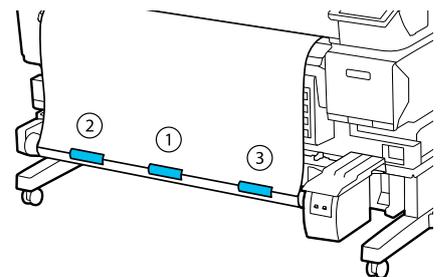


- 10 巻き方向を確認して、以下の図の順で市販の粘着テープで紙管に貼り付けます。中央を貼り付ける際は、メディアの中央をまっすぐ引っ張りながら粘着テープで貼り付けます。左右を貼り付ける際は、メディアを横に引っ張りながら粘着テープで貼り付けます。

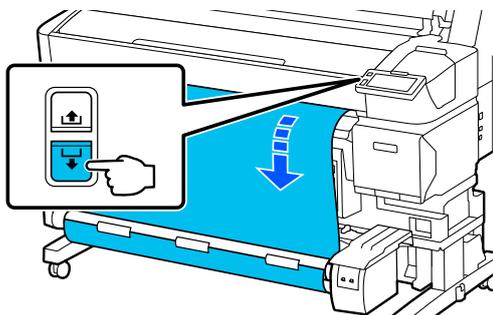
内巻き



外巻き

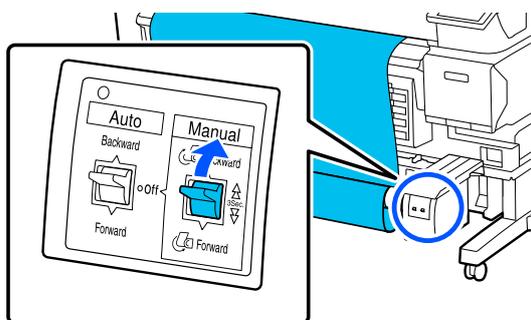


- 11 【】 ボタンを押し続けて、紙管 1 周分程度メディアをたるませます。

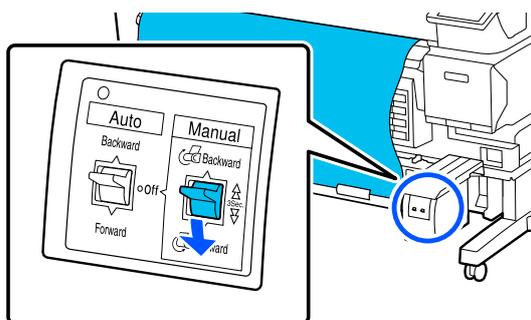


- 12 Manual スイッチを巻き方向に合わせて倒し、紙管の 1 周分メディアを巻き取ります。

内巻き

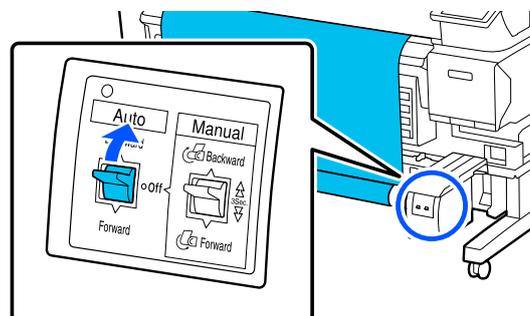


外巻き

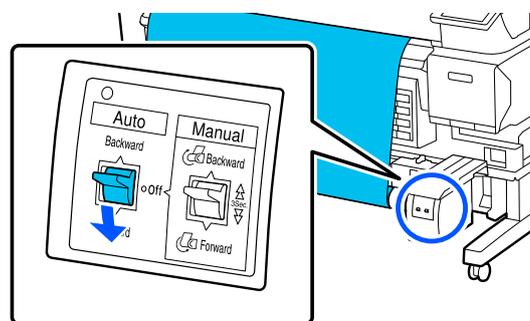


- 13 Auto スイッチを巻き方向に合わせて設定します。

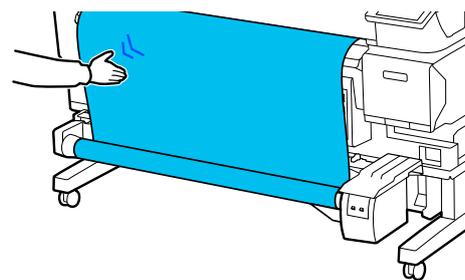
内巻き



外巻き



- 14 メディアがたるんでいないことを確認します。
メディアの両端を軽くたたいて左右の張りに差がないか確認します。



！重要

メディアの左右の張りが異なっていると、以降メディアを正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、メディアを巻き戻し、粘着テープをはがし手順 10 からやり直してください。

参考

「セットしたメディアの設定」の手順2で「巻き取り準備」を「オン」にすると、給紙後以下の画面が表示されます。「操作方法を見る」を押すと、作業手順を見ながら自動巻き取りユニットにメディアをセットできます。メディアのセットが完了したら、「完了」を押してください。



印刷する

画面に「印刷できます。」と表示されたら、印刷を開始できます。



メディアの取り外し

自動巻き取りユニットを使用していないときは、以下をご覧ください。

[「メディアの取り外し方」 35 ページ](#)

自動巻き取りユニットを使用しているときは、まずはメディアをカットしてから、巻き取ったメディアを取り外し、本機からメディアを取り外します。

[「メディアのカット」 34 ページ](#)

[「巻き取ったメディアの取り外し方」 34 ページ](#)

[「メディアの取り外し方」 35 ページ](#)

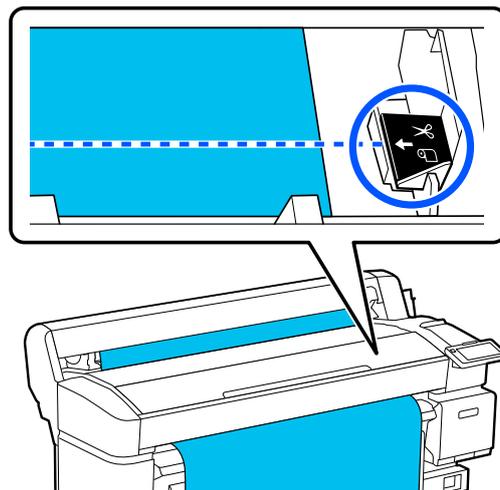
メディアのカット

【自動カット】を「オフ」にしているとき、または自動巻き取りユニットにメディアをセットしているときは、印刷後、次の手順でカットします。

1 操作パネルの画面で、を押します。

カット画面が表示されます。

カットを実行すると図の点線の位置でカットされます。カット位置を調整したいときは、プリンターカバーを閉めた状態で内部を見ながら【↓】【↑】ボタンを押して、メディアのカットする位置を内部の右側にあるマークに合わせます。



参考

内蔵カッターでカットされる最短のメディアの長さは100mmに設定されており、変更できません。カットしようとする位置が上記の最短カット長より短いときは、カットできる長さまで自動でメディアを送ってからカットするため余白ができます。余白部分は、市販のカッターなどを使ってカットしてください。

2 メディアが床に落ちないように手で持ち、【カット】を押します。

メディアがカットされます。

巻き取ったメディアの取り外し方

自動巻き取りユニットに巻き取り終わったメディアの取り外し方を説明します。

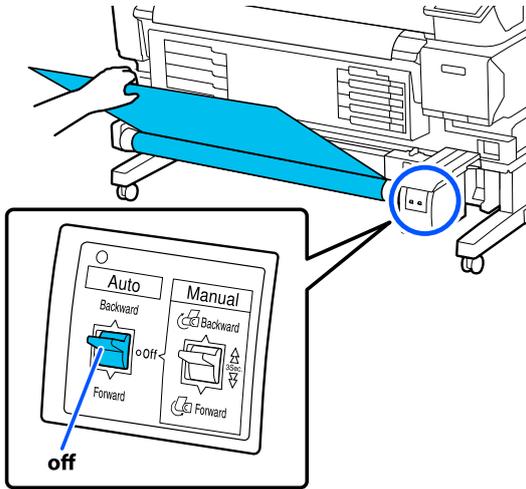
注意

自動巻き取りユニットから巻き取ったメディアを取り外す作業は、左右をそれぞれ1人で持って行ってください。

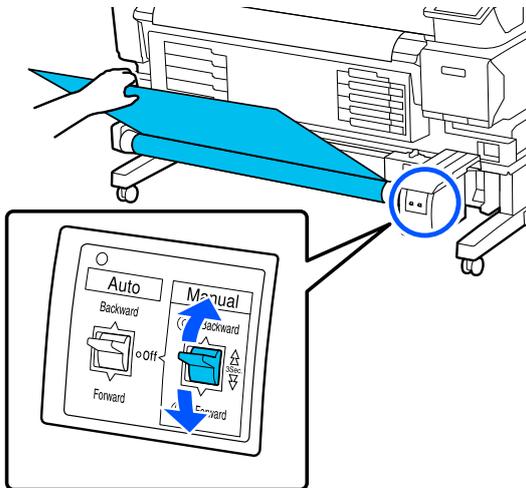
1人だけで行くと、巻き取り後のメディアが落下してけがをするおそれがあります。

メディアをカットをしていないときはカットします。
[📖 「メディアのカット」 34 ページ](#)

- 1** 自動巻き取りユニットの **Auto** スイッチを **off** にします。

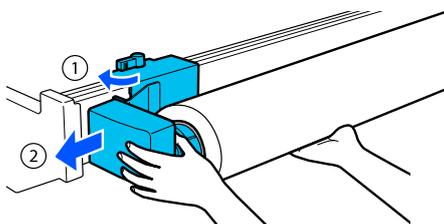


- 2** **Manual** スイッチを巻き方向に合わせて倒し、カットしたロールメディアを巻き取ります。

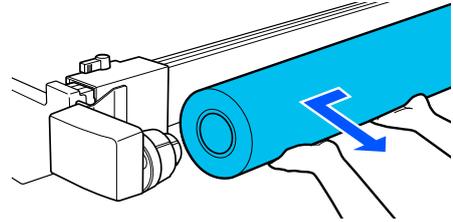


- 3** 左側の紙管ホルダーのロックレバーをロック解除して紙管ホルダーを紙管から取り外します。

紙管ホルダーを取り外すときは、紙管を落とさないように片手で支えてから行ってください。



- 4** 紙管を自動巻き取りユニットから取り外します。



メディアの取り外し方

メディアを交換するときなど、メディアを本機から取り外して保管する手順を説明します。メディアをセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。

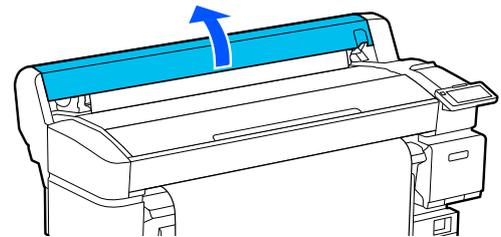
メディアをカットをしていないときはカットをします。

[📖 「メディアのカット」 34 ページ](#)

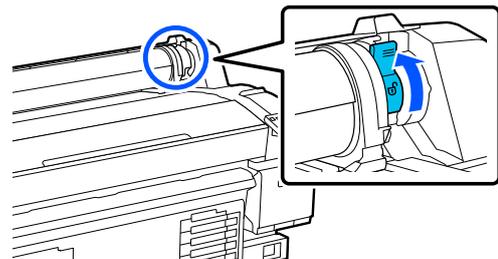
- 1** 印刷可能であることを確認し、操作パネルの画面の  [開始] の順に押します。

メディアが巻き戻って排紙されます。

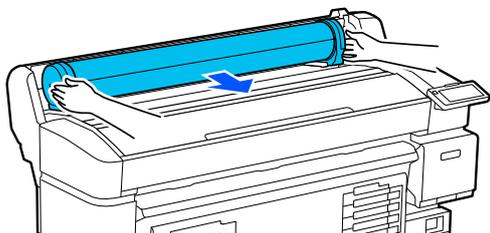
- 2** メディアカバーを開けます。



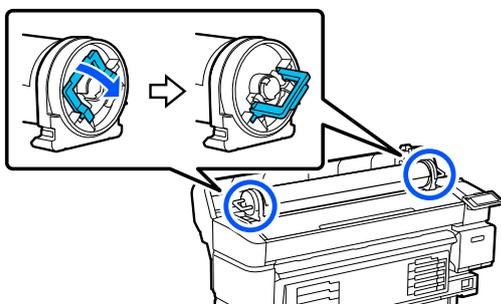
- 3** ロールロックレバーを上げます。



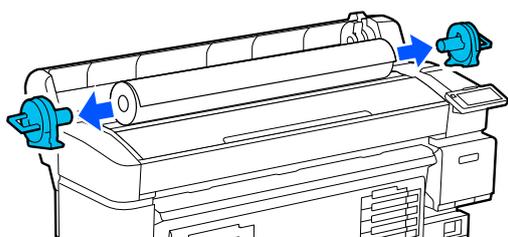
- 4 両側のアダプターを持って、メディアをメディア仮置き台に移します。



- 5 両側のアダプターのアダプターロックレバーを起してロックを解除します。

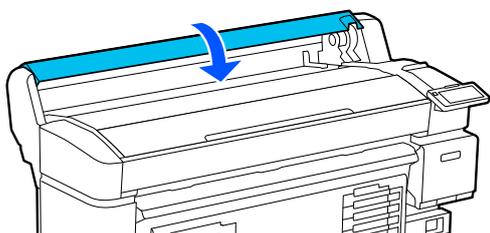


- 6 アダプターを取り外します。



メディアはきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

- 7 メディアカバーを閉めます。



メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）

本機に登録したメディア設定値を使い始める前に1度行います。

お使いのメディアやプリンターの個体差を補正してお使いの組み合わせ（メディアとプリンター）で最適な印刷ができるようにメディア設定値の最適化（印刷調整）を行います。

メディア設定の最適化は以下の場合にも実行します。

ダウンロードしたEMXファイルのメディア設定値を本機に登録したとき。

メディア設定を保存後に「高度な設定」を変更したとき

メディア設定の最適化は、使用するメディアを実際に使用するときの状態の本機にセットしてプリントヘッドの位置調整とメディア送り調整を行って、実施します。

プリントヘッドの位置調整とメディア送り調整は必ず両方実施してください。

プリントヘッドの位置調整

本機は、プリントヘッドを移動しながらインク滴を飛ばして印刷します。メディア表面とプリントヘッドの間にはわずかな距離（ギャップ）があり、メディア厚や温度・湿度の変化、プリントヘッド移動時の慣性力などによって、インク滴の到達位置（印刷位置）にズレが生じます。プリントヘッドの位置調整を行うと、印刷位置のズレを調整して印刷結果の野線のずれや、粒状感を改善します。

プリントヘッドの位置調整時のご注意

本機にセットしたメディアに合わせて調整されます。

必ずメディア設定値を本機に登録したとき、あるいは設定メニューの登録メディア管理で設定した名称をメディア選択で選択してください。

巻き取りユニットにセットして印刷するときは、印刷時と同様に巻き取りユニットにセットした状態でプリントヘッドの位置調整を実施してください。

調整できる最小メディア幅は254mmです。

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングをしてください。

☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ

プリントヘッドの位置調整の手順

1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態にメディアをセットします。

自動巻き取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

☞ 「メディアのセット」 28 ページ

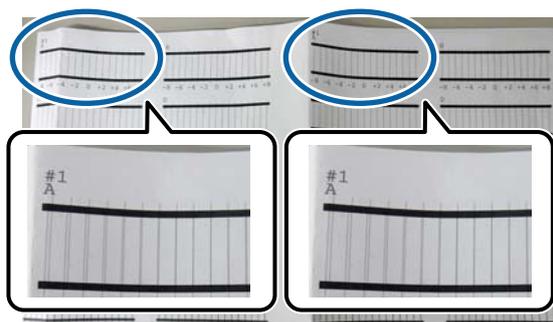
☞ 「自動巻き取りユニットの使い方 (SC-F6450 はオプション)」 30 ページ

2  (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [プリントヘッドの位置調整] の順に押します。

3 [開始] を押します。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

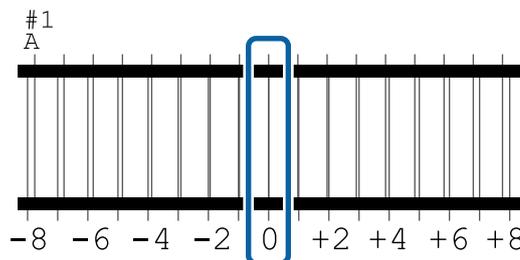
4 印刷された #1 A の調整パターンを確認します。



上図では #1 A は 2 箇所ありますが、メディア幅によって印刷される数は異なります。

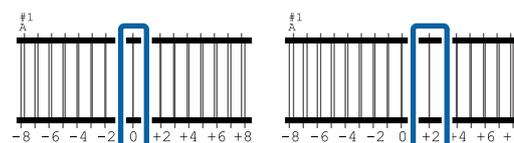
5 最も線が細く見える (線が重なっている) パターンの番号を確認します。
下図の場合は「0」を選びます。

全ての #1 A の調整パターンで最も線が細く見える番号を確認します。



6 全ての #1 A の調整パターンの平均値を求めます。

例) 調整パターンが 2 つ印刷されたとき



$$(0+2) / 2 = 1$$

参考

求めた数値が整数でないときは、小数点第 1 位を四捨五入します。

$$(1+2) / 2 = 1.5 \rightarrow 2$$

7 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

 /  を押して手順 6 で求めた平均値を設定します。

8 #1B、#2A、#2B も手順 5~7 を行い、[OK] を押します。

調整が終了するとホーム画面に戻ります。

メディア送り調整

印刷結果にバンディング (水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ) が発生するときにも行います。

[手動 (標準)] と [手動 (実測)] のどちらかを選択して調整できます。

手動 (標準)

通常は、こちらを選択して調整します。

手動 (実測)

以下の場合に選択します。

- 手動 (標準) の調整を行っても印刷結果にバンディングが見られるとき
- 手動 (標準) のパターンがインクのにじみなどで確認しにくい状態のとき
- 印刷長を正確に印刷したいとき

パターンの印刷で使用するメディア長の目安は、以下の通りです。

[手動 (標準)] 実行時：約 190 mm

[手動 (実測)] 実行時：約 1090 mm

調整手順

- 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻き取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

[🔗 「メディアのセット」 28 ページ](#)

[🔗 「自動巻き取りユニットの使い方 \(SC-F6450 はオプション\)」 30 ページ](#)

- 2  (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [メディア送り調整] - [手動 (標準)] または [手動 (実測)] の順に押しします。

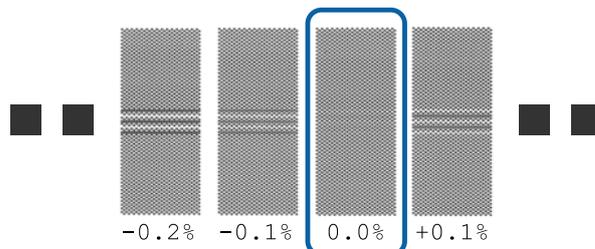
- 3 [開始] を押しします。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

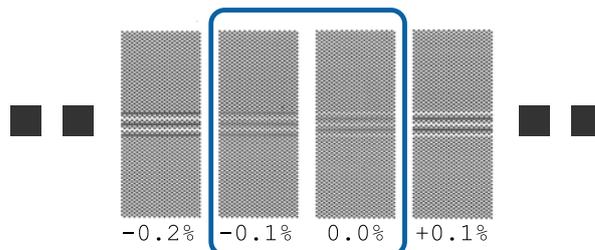
- 4 印刷された調整パターンを確認します。

手動 (標準) を選択したとき

A と B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやすれがないパターンを選びます。以下の場合には「0.0%」を選びます。



重なりやすれが同等のパターンが並んだときは、手順 6 で中間の値を入力します。以下の場合には「-0.05%」と入力します。



全ての調整パターンに重なりやすれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやすれが少ないパターンを選びます。再度手順 2~4 を行い、重なりやすれがないパターンが印刷されるまで繰り返します。

インクがにじむなどしてパターンを確認しにくい場合は、一旦「0.0%」と入力します。

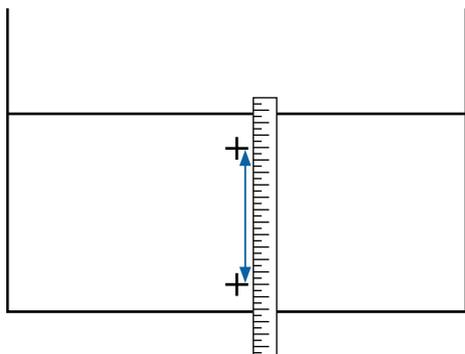
この場合は、まだメディア送りが調整されていません。以降の手順を行い手動 (標準) 調整を終了させ、改めて手動 (実測) を行ってください。

手動 (実測) を選択したとき

1 と # 2 の調整パターンが印刷されます。

調整パターンの終端でカットして平らな面に広げてスケールで測ります。

スケールは、0.5 mm まで測れるものを使ってください。また、スケールは 500 mm 以上測れるものを用意することをお勧めします。



5 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

手動（標準）を選択したとき

A、B それぞれ、選択したパターンの下に印刷されている値を設定して [OK] を押します。

手動（実測）を選択したとき

1、# 2 それぞれ手順 4 で測った値を設定して [OK] を押します。

調整が終了すると、ホーム画面に戻ります。

印刷の途中でメディア送りを調整する

印刷の途中でメディア送りを微調整できます。印刷しながら調整するため、調整結果を確認しながら調整でき便利です。

1 印刷の途中でホーム画面（印刷時調整）の以下のエリアを押します。



ホーム画面（印刷時調整）になっていないときは、ホーム画面の （画面切り替え）を押します。

2 画面の  / 、または操作パネルの  /  ボタンを押して値を変更します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので （または  ボタン）を押して+方向に調整します。逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので （または  ボタン）-方向に調整します。

3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときは、さらに  / 、または操作パネルの  /  ボタンを押して値を変更します。

現在選択している登録メディア番号の設定値が更新されます。

4  を押してホーム画面に戻ります。

参考

設定を変更した結果は、以下の操作を行うと解除されます。

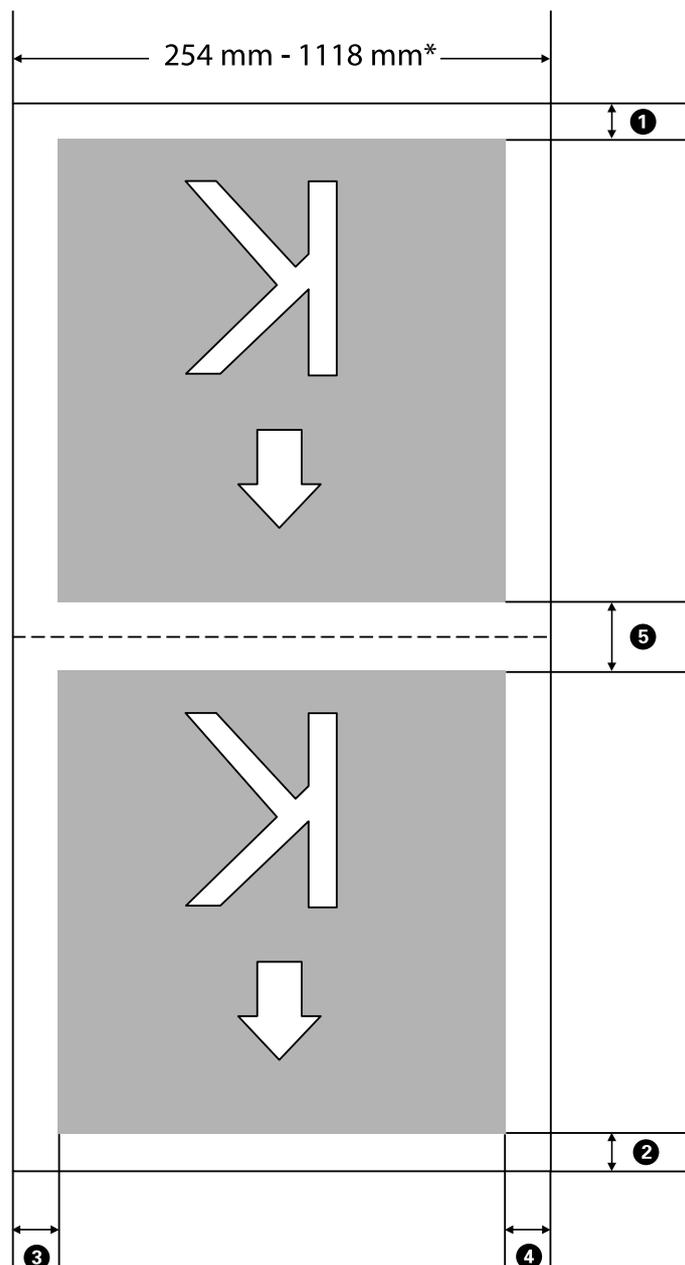
- [メディア送り調整] をやり直す。
- [全て初期化] を実行する。

目的の印刷が終了したら、設定メニューで [印刷調整] を行うことをお勧めします。

[🔗 「メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）」 36 ページ](#)

印刷可能領域

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。



* [メディア幅自動検出] の設定が [オフ] のときは、設定している値になります。

[📖 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

①～⑤の詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
① 後端*1、*4、*5	本機のプリンター設定メニューの [後端余白] で設定した値です。印刷後の自動カットする前に適用されます。	5～150mm
② 先端*1、*6	本機のプリンター設定メニューの [先端余白] で設定した値です。メディアセット後やカット後の印刷前に適用されます。	5～35 mm

基本の操作

余白位置	説明	設定有効範囲
③ 右端*2、*3	本機のプリンター設定メニューの [右余白] で設定した値です。	3～25 mm
④ 左端*2、*3	本機のプリンター設定メニューの [左余白] で設定した値です。	3～25 mm
⑤ ページ間*1、*4、*5	本機のプリンター設定メニューの [ページ間余白] で設定した値です。印刷後の自動カットをせずに印刷を続けるときに適用されます (印刷後と印刷前に設定した値の半分ずつになります)。	5～999 mm

- *1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- *2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- *3 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。
- *4 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも自動カット設定が可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。RIP に自動カット設定がない場合は、本機の自動カット設定が適用されます。
- *5 自動巻き取りユニット使用中 (Auto スイッチを Forward/Backward で使用中) は、印刷時の自動カットは行いません。
- *6 先端余白は、パスモードによって下表のように最小値が異なります。

SC-F6450

パスモード	先端余白の最小値
300x600dpi -1.1pass draft	8mm
300x600dpi -1.1pass	8mm
300x600dpi -1.5pass	16mm
300x600dpi -2.3pass	24mm
600x600dpi -2.1pass	5mm
600x600dpi -3.0pass	5mm
600x600dpi -4.0pass	5mm
600x600dpi -4.0pass HD	5mm
600x1200dpi -6.0pass	6mm
600x1200dpi -6.0pass HD	6mm
600x1200dpi -8.0pass	6mm
600x1200dpi -8.0pass HD	6mm

SC-F6450H

パスモード	先端余白の最小値
300x600dpi -2.1pass	5mm
300x600dpi -3.5pass	5mm
600x600dpi -4.7pass	5mm
600x600dpi -6.3pass	6mm

基本の操作

バスモード	先端余白の最小値
600x600dpi -6.3pass HD	6mm
600x600dpi -8.5pass	34mm
600x600dpi -8.5pass HD	34mm
600x1200dpi -12.9pass	6mm
600x1200dpi -12.9pass HD	6mm

参考

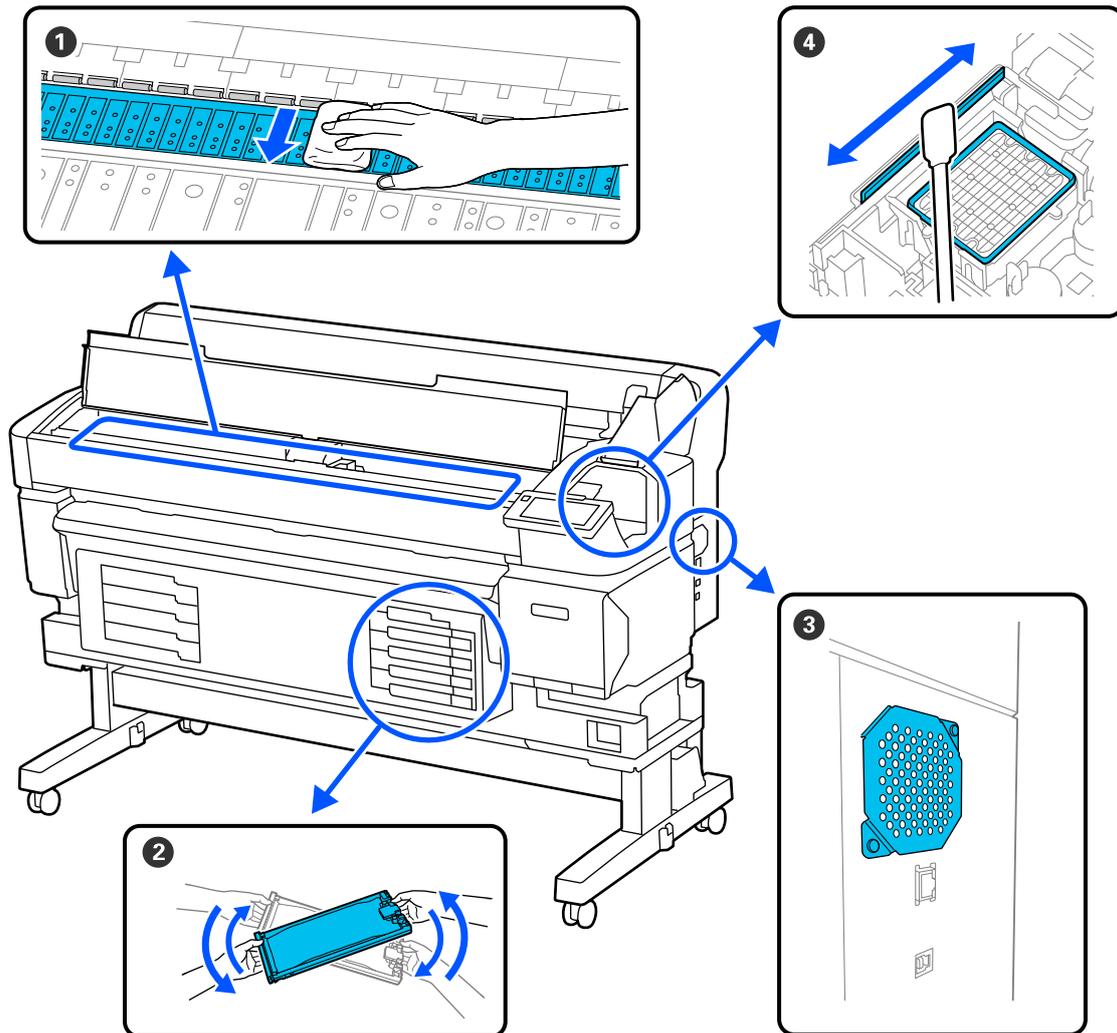
[メディア幅自動検出] を [オフ] に設定しているときは、設定した値がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。設定した値がメディア幅よりも大きいとメディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

定期メンテナンス

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ち、印刷結果の色味が変わる原因となります。



実施時期	清掃箇所
1 月に 1 回以上	<p>① プラテンの清掃 ☞ 「プラテンの清掃」 47 ページ</p> <p>④ キャップ・ワイパーの清掃 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 ☞ 「キャップとワイパーの清掃」 46 ページ</p>
1 月に 1 回/ホコリが目立ったら	<p>③ 通風口の清掃 ☞ 「通風口の清掃」 48 ページ</p>

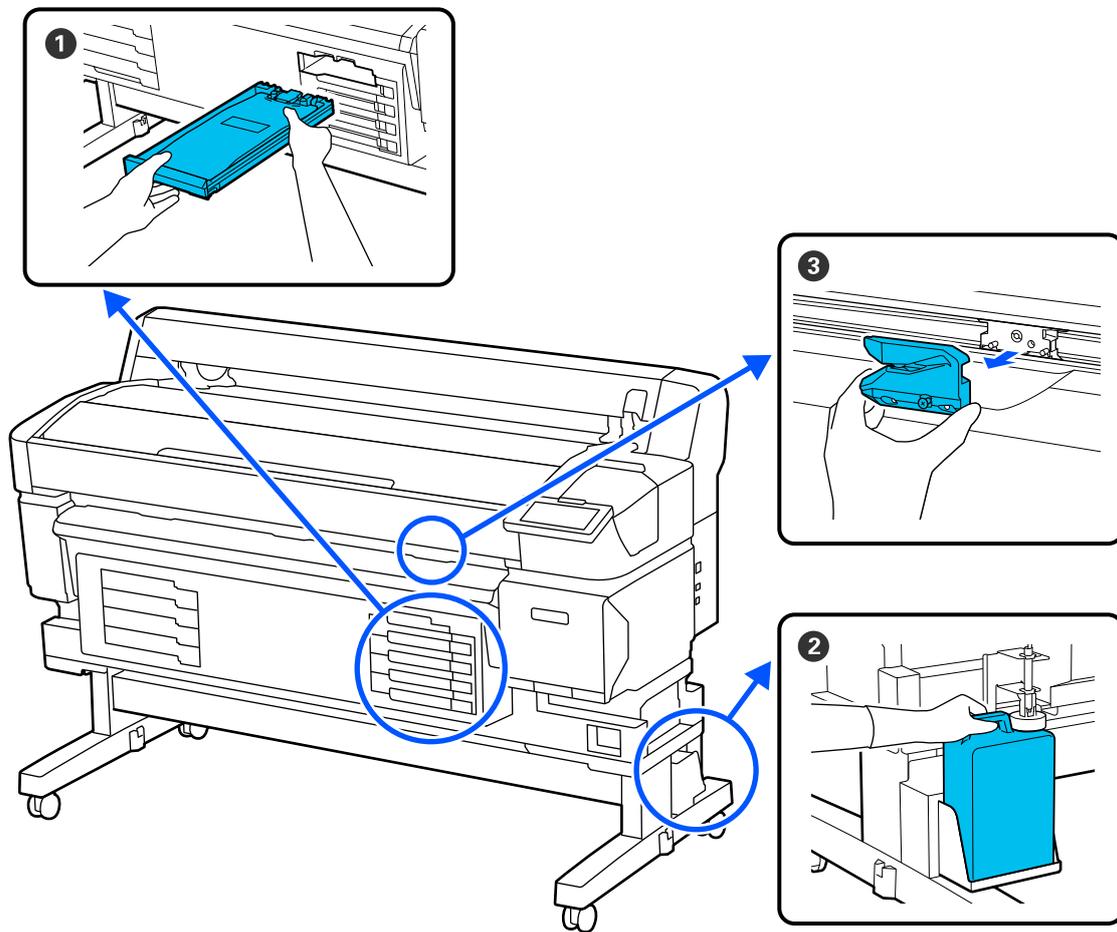
実施時期	清掃箇所
操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき (定期的にメッセージが表示されます)	② インクのかくはん ☞ 「インクパックの定期かくはん」 48 ページ

！重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質やメディア搬送品質が低下します。

使用環境や使用するメディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の補充・交換



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面にインク残量が限界値以下のエラーが表示されたとき	① インクパックの交換 ☞ 「インクパックの交換」 49 ページ
操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき	② 廃インクボトル ☞ 「廃インク処理」 50 ページ
メディアがきれいに切り取れない/切り口が毛羽立つとき	③ カッター ☞ 「カッターの交換」 53 ページ

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

🔗 [「消耗品とオプション」 83 ページ](#)

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ (市販品)

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

マスク (市販品)

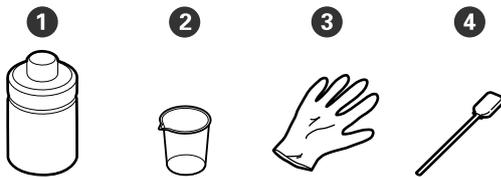
インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

メンテナンスキット (本製品に付属)

キャップ・ワイパーの清掃で使用します。

以下の品がセットで入っています。

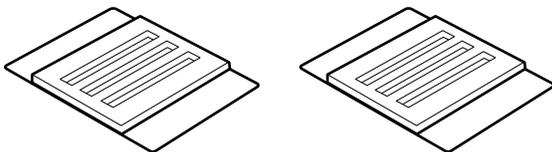
付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。



- ① インククリーナー (1 個)
- ② カップ (1 個)
- ③ 手袋 (12 枚)
- ④ クリーニング棒 (25 本)

ヘッドクリーンキット (本製品に付属)

プリントヘッドの清掃で使用します。



金属またはプラスチック (PP・PE) 製のトレイ (市販品)



清掃用具や取り外した消耗品、付属のカップに移したインククリーナーを置くのに使います。

柔らかい布 (市販品)

プラテンの清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお使いください。

メンテナンス作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って作業を行ってください。

⚠️ 注意

- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
インク、廃インク、インククリーナーが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- インクパック、廃インク、インククリーナーは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品以外のものは使わないでください。毛羽の出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- キャップとワイパーの清掃には、指定のインククリーナー以外には使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

定期メンテナンスの仕方

キャップとワイパーの清掃

1カ月に1回を目安にキャップの清掃を行ってください。使用環境や使用するメディアによっては、回数を増やしてください。

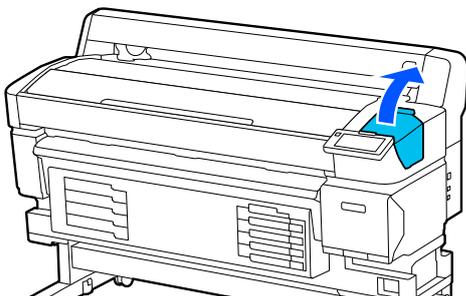
作業を行う前に必ず以下をお読みください。

☞ [「メンテナンス作業時のご注意」45ページ](#)

1 画面の  を押し、【部品清掃】 - 【キャップ/ワイパー】の順に押します。

2 【次へ】 - 【開始】の順に押します。
プリントヘッドが清掃時ポジションに移動します。

3 メンテナンスカバーを開けます。



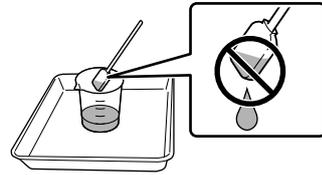
4 インククリーナーを容器のひと目盛りまで注ぎます。

周囲を汚さないよう、トレイなどの上で作業することをお勧めします。



5 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

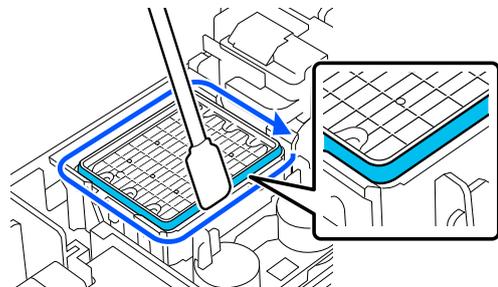
液が垂れないように注意してください。



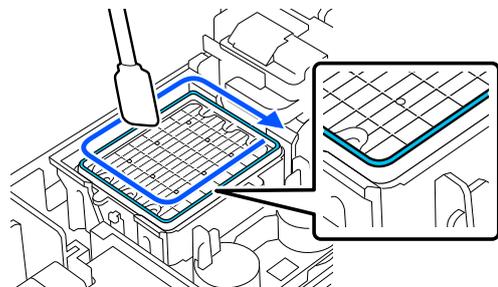
6 クリーニング棒でキャップのフチに付着したインクや毛羽ゴミを拭き取ります。

以下の3箇所を拭き取ります。

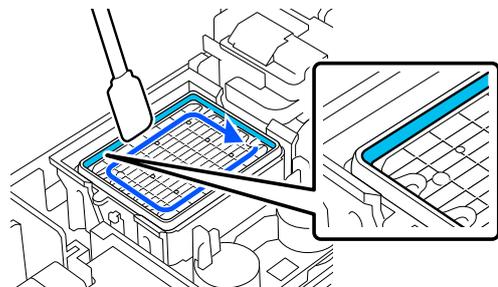
外周



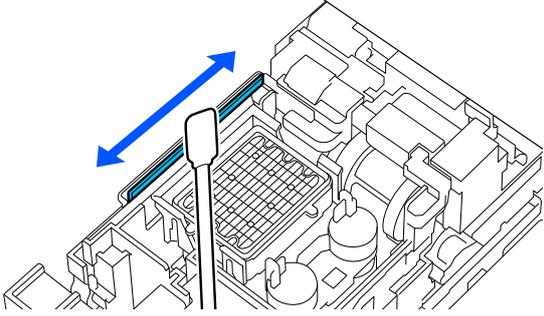
天面



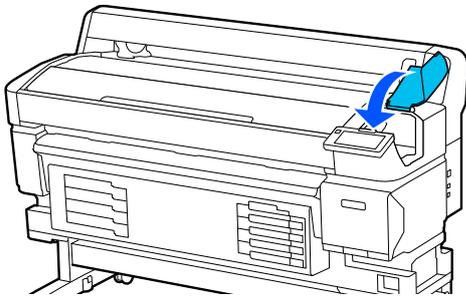
内周



- 7** クリーニング棒でワイパーの図の部分に付着したインクや毛羽ゴミを清掃します。



- 8** メンテナンスカバーを閉めて、[終了] を押します。



プラテンの清掃

プラテンは紙粉やインクが付着し汚れます。インクが付いているとメディアが汚れますので、1カ月に1回を目安にプラテンを清掃してください。

使用環境や使用するメディアによっては、回数を増やしてください。

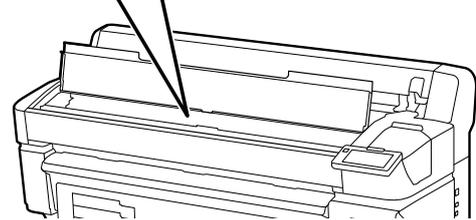
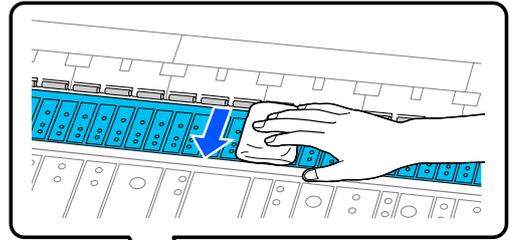
作業を行う前に必ず以下をお読みください。

📄 [「メンテナンス作業時のご注意」45ページ](#)

- 1** メディアを取り外してから本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2** 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

- 3** プリンターカバーを開け、柔らかい布を使って、ホコリや汚れをふき取ります。

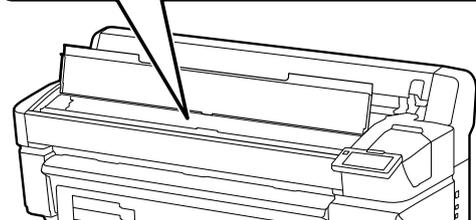
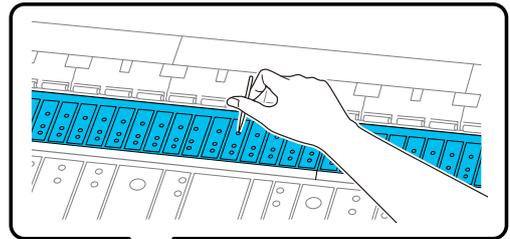
プラテンを丁寧にふきます。汚れを拡散させないために、奥から手前にふき取ります。汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふきます。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。



!重要

本機内部のインクチューブは、故障の原因となりますので触らないでください。

- 4** 樹脂部分に紙粉（白い粉のようなもの）が詰まっているときは、つまようじなどの先の細い物で中に押し込みます。



- 5** 清掃が終了したらプリンターカバーを閉めます。

プラテンを清掃しても印刷面に汚れが付くとき

以下の手順でメディアを給排紙してローラーの汚れをふき取ります。

1 本機の電源を入れて、最大印刷幅のメディアをセットします。

🔗 [「メディアのセット」 28 ページ](#)

2 【▼】 ボタンを押します。

【▼】 ボタンを押している間、メディアが送られます。メディアに汚れが付かなくなったら、ローラーの清掃は終了です。

清掃が終了したらメディアをカットします。

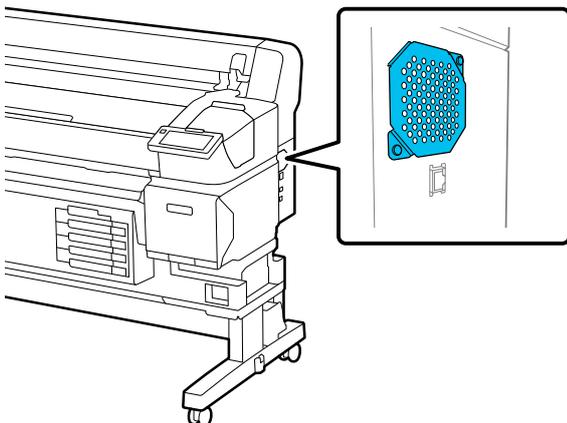
🔗 [「メディアのカット」 34 ページ](#)

通風口の清掃

1 カ月に 1 回、または通風口のホコリが目立ったら清掃します。掃除機で通風口のホコリを吸い取ってください。

！重要

通風口を清掃をしないと本機内部の温度が上昇し、エラーで停止することがあります。



インクパックの定期かくはん

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、速やかにインクパックをかくはんしてください。

！重要

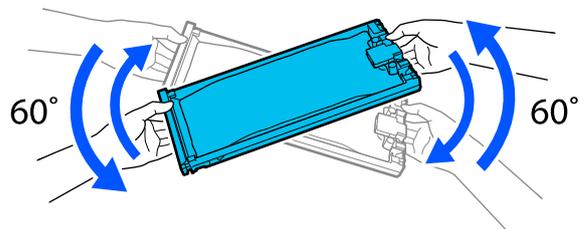
本機のインクパック、インクの特性上、徐々に沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。インクパックの装着後は定期的にインクパックをかくはんしてください。

インクパックを本機に装着後は、以下の頻度でかくはん時期をお知らせするメッセージが表示されます。

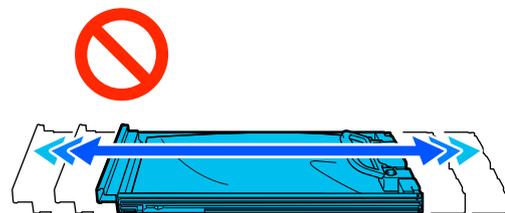
- 高濃度ブラックインク：1 週間に 1 度
- その他のインク：3 週間に 1 度

かくはん時のご注意

- インクパックを振るときは、インクパケットレイにセットした状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ってください。



- インクパックがセットされたインクパケットレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

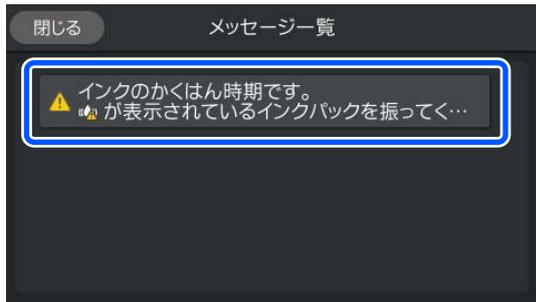
かくはん方法

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、操作パネルの画面で手順を見ながらインクパックのかくはんができます。

- 1 画面の消耗品の状態エリアを押します。



- 2 [メッセージ一覧] でインクかくはん時期をお知らせするメッセージを押します。



- 3 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。以降、画面の手順に従って、作業してください。



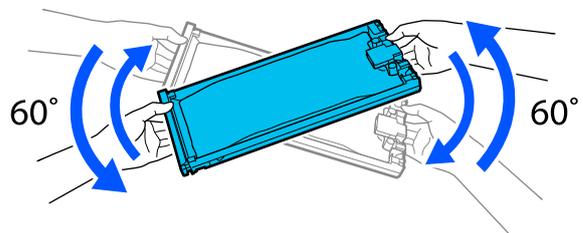
インクパックの交換

交換時のご注意

!重要

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- 1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。
- 全インクパケットレイにインクパックをセットしてください。インクパックがセットされていないインクパケットレイが1色でもあると印刷できない、または故障の原因となります。
- インクパックを振るときは、インクパケットレイにセットした状態のまま下図の通り、上下に約60度の角度で10秒間に10回程度、よく振ってください。



- 自動巻き取りのユニットにメディアがついているときは、メディアをカットしてからインクパックの交換をしてください。
[🔗 「メディアのカット」 34 ページ](#)
- 電源を入れる際にインクパックを交換するときは、内蔵カッターが使用できないことがあります。市販のハサミでメディアをカットしてください。

参考

インクパックには、印刷品質を保つための部品が入っています。異物ではありません。

交換方法

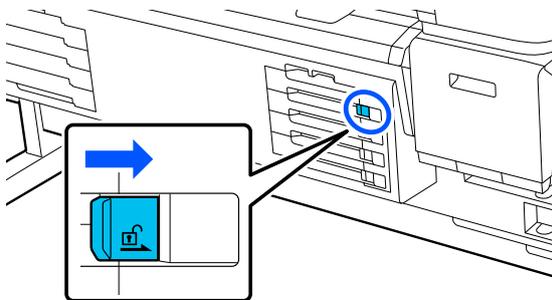
交換を促すメッセージが表示されたとき

「操作方法を見る」を押します。作業手順を見ながらインクパックの交換ができます。



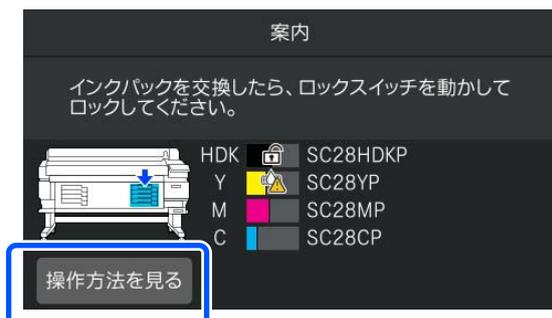
印刷量に対してインクの残量が少ないので交換したいとき

- 1 交換したい色のロックスイッチを動かして、ロックを解除します。



- 2 操作パネルの画面で「操作方法を見る」を押すと手順を確認できます。

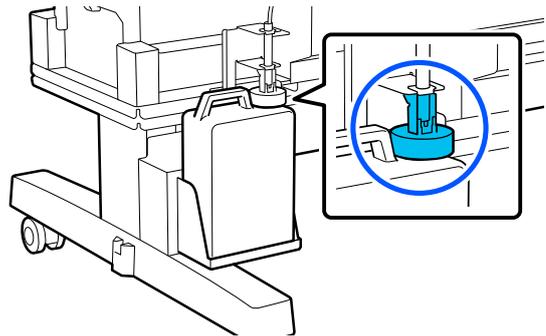
以降、画面の手順に従って、作業してください。



廃インク処理

廃インクボトル交換時のご注意

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。また、ストッパーがボトルの口に密着していることを確認してください。隙間があると、廃インクが飛び散り、周囲が汚れることがあります。



- 廃インクボトルのふたは、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。
- 印刷中やプリントヘッドのクリーニング実行中は、画面に指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

廃インクボトルの交換

廃インクボトルの交換は以降のとおり2通りあります。状況に応じて該当の交換方法を実施してください。作業を行う前に必ず以下をお読みください。

📄 [「メンテナンス作業時のご注意」45 ページ](#)

廃インクボトルの交換時期になったことをお知らせするメッセージが表示されたとき

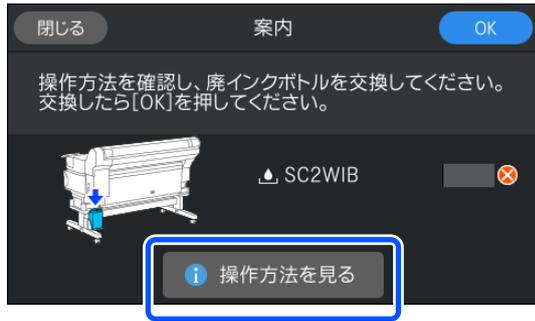
直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。メッセージが表示されたら、「操作方法を見る」を押します。作業手順を見ながら廃インクボトルの交換ができます。

！重要

「廃インクボトルの交換時期が近づいています。」と表示されたときは、直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。

この段階で廃インクボトルを交換するときは以下をご覧ください。

🔗 [「任意の時期に交換したいとき」 51 ページ](#)



任意の時期に交換したいとき

夜間稼働などのため、交換時期のメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、以下の手順で廃インクボトル交換をしてください。以下の手順で実施しないと、次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

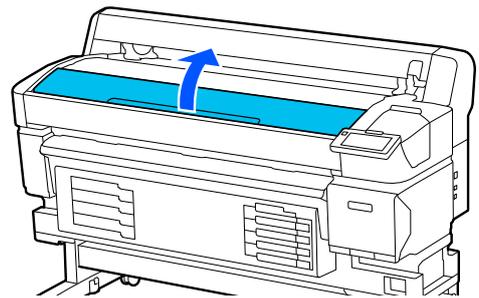
- 1 画面の を押し、[廃インクボトル交換] を押します。
- 2 「操作方法を見る」を押すと手順を確認できます。
以降、画面の手順に従って、作業してください。

プリントヘッドの清掃

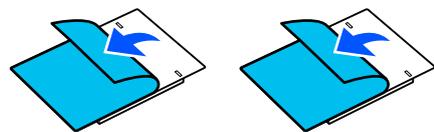
プリントヘッドのクリーニングを数回行って印刷結果にインクのボタ落ちが発生するときは、ヘッドクリーンキットを使用してプリントヘッドを清掃します。作業を行う前に以下のものを準備してください。作業を行う前に必ず以下をお読みください。

🔗 [「メンテナンス作業時のご注意」 45 ページ](#)

- 1 画面の を押し、[部品清掃] - [プリントヘッド] の順に押します。
メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 「次へ」 - 「開始」を押します。
プリントヘッドが移動します。
- 3 プリンターカバーを開けます。



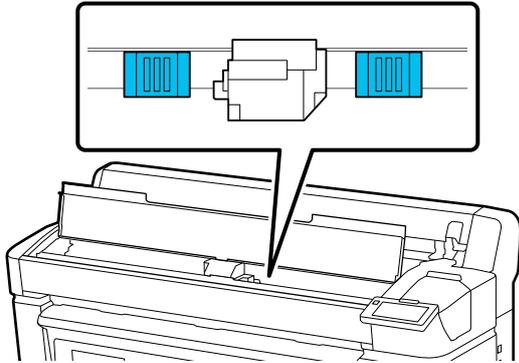
- 4 ヘッドクリーンキット 2 個の裏面の台紙をはがします。



- 5** ヘッドクリーンキット2個をプリントヘッドの両側に貼り付けます。

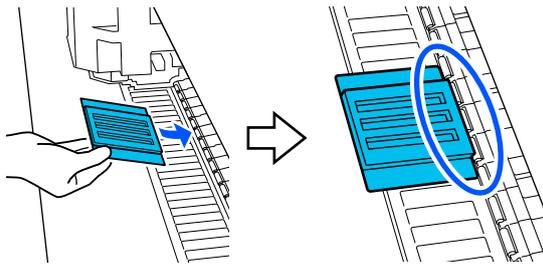
セット位置

図のようにプリントヘッドから少し離れた位置にセットします。



セット方法

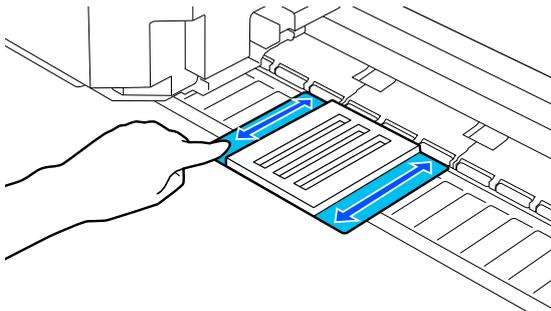
ヘッドクリーンキットの端をローラーに当てながらセットします。



!重要

- ヘッドクリーンキットとローラーの間に隙間がないようにセットしてください。適切な位置にセットしないと正しく清掃できません。
- プリントヘッドは手で動かさないでください。故障の原因となります。

- 6** ヘッドクリーンキットの図の部分指で擦って固定します。



!重要

ヘッドクリーンキットの粘着面が浮かないように固定してください。このとき、クリーニングパッドを強く押さえないでください。プラテンが変形します。

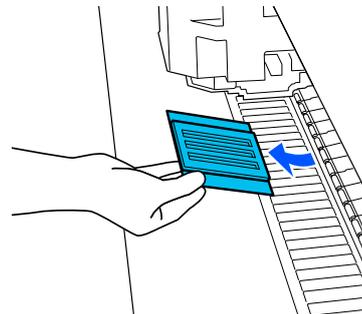
- 7** プリンターカバーを閉め、**【継続】** を押します。プリントヘッドの清掃が始まります。

!重要

清掃中はプリンターカバーを開けないでください。清掃が中断します。

- 8** 操作パネルの画面にヘッドクリーンキットを取り外すメッセージが表示されたら、プリンターカバーを開けます。

- 9** ヘッドクリーンキット2個を取り外します。



!重要

- 周辺の部品を汚さないように、ゆっくり取り外してください。
- プラテン上を確認してゴミや汚れがあるときは、清掃してください。
☞ [「プラテンの清掃」47 ページ](#)

一度使用したヘッドクリーンキットは再使用しないでください。

☞ [「使用済み消耗品の処分」54 ページ](#)

- 10** プリンターカバーを閉め、**【終了】** を押します。プリントヘッドのクリーニングが始まります。プリントヘッドのクリーニングが完了したらヘッドの清掃は終了です。

カッターの交換

メディアがきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したりしたら、カッターを交換してください。

本機で使用できるカッター

 [「消耗品とオプション」83 ページ](#)

注意

カッターは子供の手の届く場所に保管しないでください。カッターの刃でけがををするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。

カッターの交換にはプラスドライバーを使用します。プラスドライバーを手元に用意してから交換の作業を行ってください。

交換方法

操作パネルの画面で手順を見ながら作業できます。

1 画面の  を押し、[カッター交換] を押しします。

2 [開始] を押し、[操作方法を見る] の順に押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。

参考

使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

カッター交換時のご注意

- カッター刃を傷付けないようにしてください。落としたり硬い物に当たると刃が欠けることがあります。
- 新品のカッターに挟まっているシートは刃の保護用です。取り除かずに交換作業をしてください。カッター交換後にカッターが元の位置に戻るときに保護シートがカッターから外れるので取り除いてください。

- カッター固定ネジはしっかり締めてください。カッターが固定されていないと、カット位置がずれたり曲がったりすることがあります。

使用済み消耗品の処分

使用済みの以下のインク付着物は、産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- インククリーナー
- インクパック
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ヘッドクリーンキット
- 印刷後のメディア

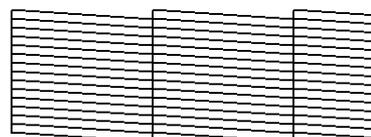
産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。製品安全データシートは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

プリントヘッドのノズルチェック

印刷の前にノズルの状態をチェックしたいときや印刷結果にスジやムラが見られるときなどはチェックパターンを印刷して、そのチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認します。

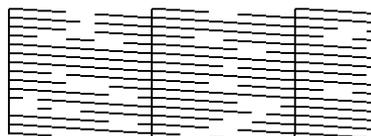
- 1 印刷可能状態であることを確認して  を押し、[プリントヘッドのノズルチェック] を押します。
- 2 [開始] を押します。
チェックパターンの印刷が行われます。
- 3 チェックパターンを確認します。
必要に応じて【】ボタンを押してメディアを送り出して確認してください。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていないときは [○] を押します。

目詰まりしているときの例



ノズルチェックパターンが欠けているときは、[X] を押すとプリントヘッドのクリーニングに移行します。

 [「プリントヘッドのクリーニング」55 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

クリーニングの種類

プリントヘッドのクリーニングは、以下の4通りあります。

おまかせクリーニング

検出されたノズルの目詰まり具合に応じて、レベルを自動で変えてクリーニングします。

クリーニングの実施方法は以下をご覧ください。

[🔗 「プリントヘッドのクリーニングの方法」 55 ページ](#)

任意にプリントヘッドのクリーニングを実施する

ノズルチェックパターンが欠けているときや印刷結果にスジが入る、色がおかしい、インクのボタ落ちがあるときは、プリントヘッドのクリーニングを行います。

プリントヘッドのクリーニングが終了したら再度ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認します。

プリントヘッドのクリーニングの実施方法は、以下をご覧ください。

[🔗 「プリントヘッドのクリーニングの方法」 55 ページ](#)

定期的にプリントヘッドのクリーニングを実施する

メンテナンス設定の定期クリーニングをオンにすると、ノズル目詰まりの予防手段として定期的にプリントヘッドのクリーニングを実施します。頻度は印刷時間、印刷ページ数、印刷長のいずれかで設定します。

[🔗 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

保守クリーニング（非稼働時）を設定する

【メンテナンス設定】の【保守クリーニング（非稼働時）】を【オン】にすると、プリントヘッドを良好な状態に保つために一定時間が経過すると自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されます。

[🔗 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニングの方法

最初は、おまかせクリーニングを実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは【クリーニング（弱）】、【クリーニング（強）】の順に、目詰まりが解消されるまで実施してください。

1 印刷可能状態であることを確認して  を押し、【プリントヘッドのクリーニング】を押します。

2 クリーニング方法を選択します。

最初は、【おまかせクリーニング】を選択します。

2 回目は、【クリーニング（弱）】を選択します。

3 回目は、【クリーニング（強）】を選択します。

3 プrintヘッドのクリーニングが開始されます。

プリントヘッドのクリーニングが終了すると、クリーニング結果のメッセージが表示されます。

4 メッセージの内容を確認し、【OK】を押します。

目詰まりが解消されたとき
通常の作業を再開してください。

目詰まりが解消されないとき

手順 1 に戻って【クリーニング（弱）】を実施します。
【クリーニング（弱）】を実施しても目詰まりが解消されないときは【クリーニング（強）】を実施します。

【クリーニング（強）】を実施してもノズルの目詰まりが解消されないとき

本機内部の清掃が必要です。

印刷結果の状態に応じて以下を実施します。

横スジが入る・色がおかしいとき

[🔗 「キャップとワイパーの清掃」 46 ページ](#)

インクのボタ落ちが生じるとき

[🔗 「プリントヘッドの清掃」 51 ページ](#)

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

本体設定

各項目の詳細 [🔗 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

設定項目	設定値
基本設定	
画面の明るさ設定	1～9
音の設定	
操作音	0、1、2、3
正常終了音	0、1、2、3
注意音	
音量	0、1、2、3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
エラー音	
音量	0、1、2、3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
音の種類	パターン1、パターン2
アラートランプ通知	オン、オフ
スリープ移行時間設定	1～240
スリープ復帰方法	
タッチパネルで復帰	する、しない、時間指定
日付/時刻設定	
日付/時刻	
時差	-12:45～+13:45
言語選択/Language	日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Traditional Chinese, Simplified Chinese, Thai, Indonesian, Turkish
背景色	グレー、ブラック、ホワイト
キーボード	QWERTY、AZERTY、QWERTZ
単位設定	
長さ単位	m、ft/in
温度単位	°C、°F

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
プリンター設定	
余白	
右余白	3~25mm
左余白	3~25mm
ページ間余白	5~999mm
先端余白	5~35mm
後端余白	5~150mm
メディア検出	
メディア幅自動検出	オン、オフ
メディア幅	254.0~1117.6 mm
斜行エラー検出	オン、オフ
ページ間ノズルチェックパターン印刷	
オン	
実行タイミング	
印刷長	1~9999m
ページ数	1~9999 ページ
印刷時間	1~9999 分
オフ	
メディア情報印刷	
メディア残量情報	オン、オフ
印刷情報	オン、オフ
カット設定	
自動カット	オン、オフ
初期設定に戻す	ネットワーク設定、全て初期化

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
メンテナンス設定	
クリーニング設定	
ノズル抜け判定閾値	1～10
最大リトライ回数	0、1、2
定期クリーニング	
オン	
実行タイミング	
印刷時間	1～9999 分
ページ数	1～9999 ページ毎
印刷長	1～9999m
クリーニングレベル	弱、強
オフ	
ノズル抜け判定閾値到達時のメンテナンス	印刷停止、通知のみ、自動メンテナンスする
保守クリーニング（非稼働時）	オン、オフ
ネットワーク設定	
ネットワーク情報	有線接続状態、ステータスシート印刷
詳細設定	
デバイス名	
TCP/IP	自動設定、手動設定
プロキシサーバー	使用しない、使用する
IPv6 アドレス	有効、無効
Link Speed & Duplex	自動、100BASE-TX Auto、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化	
IEEE802.1X の無効化	

メディア設定

各項目の詳細 [🔗 「メディア設定メニュー」 68 ページ](#)

設定項目	設定値
現在の設定	
メディア	01 XXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXXX
メディアタイプ	
メディア幅	
高度な設定	
印刷調整	
メディア送り調整	手動（標準）、手動（実測）
プリントヘッドの位置調整	
登録メディア管理	
01 XXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXXX	
登録名称の変更	
メディアタイプ	薄手 50g/m ² 、中薄 70g/m ² 、厚手 120g/m ²
高度な設定	
乾燥時間	
パスごとの乾燥時間	0.0~10.0 秒
ページごとの乾燥時間	0.0~60.0 分
ブラテングャップ	1.6、2.0、2.5
搬送テンション	Lv1~Lv5
吸着力	Lv0~Lv6
斜め給紙軽減	オン、オフ
貼り付き防止	オン、オフ
巻き取りテンション*	Lv1~Lv6
ムラ低減調整	オフ、弱、中、強
残量管理	
残量管理	オン、オフ
残量	1.0~9999.9m
残量警告	1.0~999.5m
印刷長管理	
自動リセット	オフ、ジョブごと
手動リセット	

* 自動巻き取りユニット装着時に限り表示されます。

プリンターのお手入れ

各項目の詳細 [「プリンターのお手入れメニュー」 71 ページ](#)

設定項目	設定値
プリントヘッドのノズルチェック	
プリントヘッドのクリーニング	おまかせクリーニング、クリーニング（弱）、クリーニング（強）
部品清掃	プリントヘッド、キャップ/ワイパー
廃インクボトル交換	
カッター交換	

消耗品情報

メニューの詳細 [「消耗品情報メニュー」 71 ページ](#)

交換部品情報

メニューの詳細 [「交換部品情報メニュー」 71 ページ](#)

情報確認

メニューの詳細 [「情報確認メニュー」 72 ページ](#)

設定項目	設定値
ファームウェアバージョン	プリンター、自動巻き取りユニット
プリンター名	
フェータルエラー履歴	
稼働実績	総印刷面積、総メディア送り量、総キャリッジパス数
自動巻き取りユニット	

設定メニューの説明

本体設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
基本設定		
画面の明るさ設定	1～9 (9*)	操作パネルの画面の明るさを調整します。
音の設定		
操作音	0	電源ボタンや操作パネルの画面を操作したときの音の大きさを設定します。
	1*	
	2	
	3	
正常終了音	0	ジョブの印刷やメンテナンス動作が終了したときの音の大きさを設定します。
	1	
	2	
	3*	
注意音		
音量	0	消耗品の交換時期をお知らせするときの音の大きさと繰り返しを設定します。
	1	
	2*	
	3	
繰り返し鳴動	しない*	
	停止されるまで	
エラー音		
音量	0	印刷を継続できないエラーが発生したときの音の大きさと繰り返しを設定します。
	1	
	2	
	3*	
繰り返し鳴動	しない	
	停止されるまで*	
音の種類	パターン 1*	音の種類を設定します。本機の設置環境に合わせて聞き取りやすい音に設定できます。
	パターン 2	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
アラートランプ通知	オン*	アラートランプにエラー通知がきたときに点灯する（[オン]）か、しない（[オフ]）を設定します。
	オフ	
スリープ移行時間設定	1～240（15*）	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が何分続いたらスリープモードに移行するかを設定できます。スリープモードになると、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。 操作パネルのボタン操作（【0】ボタンを除く）をすると、操作パネルの画面表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約 30 秒後に再び画面表示は消えます。完全にスリープモードが解除され通常の状態に復帰するのは、印刷ジョブを受信するなど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。
スリープ復帰方法		スリープ状態からの復帰方法を設定できます。
タッチパネルで復帰		
する*		
しない		
時間指定	0:00～23:45	
日付/時刻設定		
日付/時刻		内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時刻はホーム画面に表示されます。また、ジョブ履歴や Epson Edge Dashboard でプリンタステータスを表示させるときにも使用されます。
時差	-12:45～+13:45	協定世界時（UTC）との時差を 15 分刻みで設定します。時差があるネットワーク環境で本機を管理するときなどに必要に応じて設定します。
言語選択/Language	日本語*	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Korean	
	Traditional Chinese	
	Simplified Chinese	
	Thai	
	Indonesian	
Turkish		

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
背景色	グレー	操作パネルの画面の配色を設定します。本機を設置している環境に応じて見やすい配色に設定できます。
	ブラック*	
	ホワイト	
キーボード	QWERTY*	メディア設定の登録名称を入力するときなどに表示される文字入力画面のキー配列を選択します。
	AZERTY	
	QWERTZ	
単位設定		
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
温度単位	°C*	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	°F	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
プリンター設定		
余白		
右余白	3～25mm (3*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア右端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 🔗 「印刷可能領域」40 ページ
左余白	3～25mm (3*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア左端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 🔗 「印刷可能領域」40 ページ
ページ間余白	5～999mm (10*)	印刷ページ間の余白を設定します。単ページの印刷ジョブのときはジョブ間の余白になります。
先端余白	5～35mm (15*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア先端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 🔗 「印刷可能領域」40 ページ
後端余白	5～150mm (15*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア後端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 🔗 「印刷可能領域」40 ページ
メディア検出		
メディア幅自動検出	オン*	メディア幅を検出する（ [オン] ） / しない（ [オフ] ） を選択します。メディアを正しくセットしていても、メディア幅のエラーが表示されるときは [オフ] に設定して印刷してみてください。ただし通常は [オン] で使用することをお勧めします。変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。
	オフ	
メディア幅	254.0 ～ 1117.6 mm (254.0*)	[メディア幅自動検出] を [オフ] にしたときは、本設定でセットしているメディアの幅に合わせて正しくメディア幅の値を設定します。変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。 正しいメディア幅が設定されていないと、メディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。
斜行エラー検出	オン*	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（ [オン] ） / 中止せずに続行する（ [オフ] ） を選択します。斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は [オン] で使用することをお勧めします。
	オフ	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ページ間ノズルチェックパターン印刷		
オン		<p>[オン] にすると設定したタイミングで定期的にノズルチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にスジやムラがないかを判断します。</p> <p>[印刷長]、[ページ数]、[印刷時間] のいずれかを選択し、チェックパターンを印刷するタイミングを設定します。</p>
実行タイミング		
印刷長	1~9999m	
ページ数	1~9999 ページ	
印刷時間	1~9999 分	
オフ*		
メディア情報印刷		
メディア残量情報	オン	<p>メディアの取り外しや交換時に、メディア残量などの情報を印刷します。</p> <p>[メディア残量情報] を [オン] にすると、カット位置より未使用側に残量を印刷します。以下の情報を印刷します。メディア残量情報を印刷する場合は、[メディア設定] の [残量管理] を [オン] にしてください。</p>
	オフ*	
印刷情報	オン	<ul style="list-style-type: none"> • Model: 本機の機種名 • Serial No.: 本機のシリアル番号 • Print Date: 印刷した日時 • Bank No.: 印刷時のメディア番号 • Media Type: 印刷時のメディア番号に登録されているメディアタイプ • Media Width: 自動検出したメディア幅値 • Remaining Amount: メディア残量 <p>[印刷情報] を [オン] にすると、カット位置より印刷済み側に以下の情報を印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Model: 本機の機種名 • Serial No.: 本機のシリアル番号 • F/W Version: 本機のファームウェアバージョン • Print Date: 印刷した日時 • Bank No.: 印刷時のメディア設定番号 • Media Type: 印刷時のメディア設定番号に登録されているメディアタイプ • Media Width: 自動検出したメディア幅値 • Print Length: メディア使用量
	オフ*	
カット設定		
自動カット	オン*	<p>メディアを 1 ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットする ([オン]) / しない ([オフ]) を選択します。</p>
	オフ	
初期設定に戻す	ネットワーク設定	<p>[ネットワーク設定] を実行すると、ネットワーク設定メニューの [詳細設定] の内容をすべてメーカー設定値に戻します。</p> <p>[全て初期化] を実行すると、メニューの全設定をメーカー設定値に戻します。</p>
	全て初期化	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
メンテナンス設定		
クリーニング設定		
ノズル抜け判定閾値	1~10 (1*)	<p>本機体は印刷開始前にプリントヘッドのノズルの状態を監視しており、監視中にノズルの目詰まり（ノズル抜け）が検出されたときの動作を設定します。</p> <p>【ノズル抜け判定閾値】で設定した数以上のノズル抜けを検出すると、メンテナンスとしてプリントヘッドのクリーニングを実施します。</p> <p>【最大リトライ回数】は、メンテナンス実施後にノズル抜けが解決されなかった場合の再メンテナンス回数を設定します。</p>
最大リトライ回数	0*	
	1	
	2	
定期クリーニング		<p>【オン】にすると、【実行タイミング】の【印刷時間】、【印刷ページ数】、【印刷長】のどれかで設定した頻度で、クリーニングを実施します。このとき、【クリーニングレベル】で設定したレベルでクリーニングを実施します。</p>
オン		
実行タイミング		
印刷時間	1~9999 分	
ページ数	1~9999 ページ毎	
印刷長	1~9999m	
クリーニングレベル	弱*	
	強	
オフ*		
ノズル抜け判定閾値到達時のメンテナンス	印刷停止	
	通知のみ*	
	自動メンテナンスする	
保守クリーニング（非稼働時）	オン*	<p>【オン】にすると、本機を一定時間使用しない場合に自動でプリントヘッドのクリーニングを実施します。クリーニングすることによりインク流路内に沈降しているインクを排出し、印刷品質の低下を防ぎます。</p>
	オフ	

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
ネットワーク情報	有線接続状態	[詳細設定] で設定されているネットワーク設定個々の情報を一括して確認 できます。 [ステータスシート印刷] を選択すると一覧が印刷されます。
	ステータスシート印刷	
詳細設定		
デバイス名		ネットワークの個々の設定をします。
TCP/IP	自動設定	
	手動設定	
プロキシサーバー	使用しない	
	使用する	
IPv6 アドレス	有効*	
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	
	100BASE-TX Auto	
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化		有効化の設定は、内蔵ソフトウェアの Web Config で行います。 ここでは無効化に切り替えることだけができます。 Web Config の起動方法は以下をご覧ください。 🔗 「Web Config の使い方」 25 ページ
IEEE802.1X の無効化		

メディア設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
現在の設定		
メディア	01 XXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXX	使用するメディア設定を選択します。XXXXXXXXXXには登録した名称が表示されます。
メディアタイプ		現在選択しているメディアタイプが表示されています。
メディア幅		【メディア検出】の項目を設定します。
高度な設定		現在【メディア】で選択している登録メディアの【高度な設定】を変更できます。 設定内容は、以下をご覧ください。 🔗「登録メディア管理の項目」69ページ
印刷調整		
メディア送り調整	手動（標準）	印刷結果にバンディングや粒状感が見られるときに行います。 詳細は以下をご覧ください。 🔗「メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）」36ページ
	手動（実測）	
プリントヘッドの位置調整		
登録メディア管理		
01 XXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXXX		登録されているメディア設定の内容を変更します。 🔗「登録メディア管理の項目」69ページ 【メディア設定】の右端にある  部分を押し、選択中の設定内容を別のメディア設定番号にコピーしたり、設定内容を全て初期化したりできます。
残量管理		
残量管理	オン	【オン】を選択すると【残量】、【残量警告】が設定できるようになります。各項目を設定して残量管理を行うとメディア交換時期が把握しやすくなります。 【オン】にした以降は、メディアをセットすると登録メディアの設定番号の選択に続いてメディア長さ（残量）の入力が求められます。
	オフ*	
残量	1.0~9999.9mm (100.0m*)	セットしているメディアの全長を設定します。設定は0.1m単位で行えます。ここで設定した長さから印刷した長さからメディア残量が見積もられ、ホーム画面（状態表示）に表示されます。
残量警告	1.0~999.5m (5.0m*)	メディアの残量がどのくらいになったら警告のメッセージを表示するか、その値を設定します。設定は0.1m単位で行えます。
印刷長管理		
自動リセット	オフ*	印刷長の値を自動でリセットしない（【オフ】）/次のジョブの印刷開始時にリセットする（【ジョブごと】）を選択します。 【オフ】選択時は、【手動リセット】を行うまでリセットしません。ただし、値が9999に達すると自動でリセットされ0に戻ります。 【ジョブごと】選択時は、次のジョブの印刷開始時に0に戻りますので、ジョブごとの印刷長を確認できます。印刷中も、どこまで印刷が終わったか確認できます。
	ジョブごと	
手動リセット		リセット操作をした時点で印刷長の値が0に戻ります。

登録メディア管理の項目

メディアセット時にメディアタイプを選択するか、付属の Epson Edge Print や Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードして本機にメディア設定値を登録したときは、使用メディアに適したメディア設定値が設定されていますので、通常はそのままお使いください。特殊なメディアを使用するときや、印刷結果にヘッドこすれやバンディングのような問題が見られるときなどに設定を変更します。

以下の各項のメーカー設定値は、[メディアタイプ] で設定した内容により異なります。

設定項目	設定値	説明
登録名称の変更		保存するメディア設定に、20 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディアタイプ	薄手 50g/m ²	セットしたメディアに応じたメディアタイプを、メディアの厚さ（坪量）を目安に選択します。 メディアタイプごとの坪量（g/m ² ）の目安は以下の通りです。画面に表示される各メディアタイプの坪量は、代表的な値です。 薄手: 60 以下 中薄: 61~89 厚手: 90 以上 本機は、メディアタイプに応じた最適なメディア設定値を保持しています。メディアタイプを変更すると、現在のメディア設定番号に登録されている各メディア設定値が変更後のメディアタイプの値に変わります。 ⓘ 「メディアタイプごとのメディア設定値一覧」86 ページ
	中薄 70g/m ² *	
	厚手 120g/m ²	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
高度な設定		
乾燥時間		
パスごとの乾燥時間	0.0～10.0 秒	1 パス印刷後にインクが乾燥するまでメディア送りを停止する時間を 0.0 ～ 10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間は長くなります。
ページごとの乾燥時間	0.0～60.0 分	1 ページ印刷後にインクが乾燥するまでメディア送りを停止する時間を 0.0 ～ 60 分の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間は長くなります。
プラテングャップ	1.6	プラテングャップ（プリントヘッドとメディアの間隔）を設定します。通常は、各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、大きな値に変更すると改善されることがあります。ただし、むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
	2.0	
	2.5	
搬送テンション	Lv1～Lv5	通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。印刷中にメディアにしわが寄るときには、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
吸着力	Lv0～Lv6	プラテンがメディアを吸着する強度を設定します。設定値が大きいくほど吸着力が強くなります。通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。プラテン上でメディアが波打っているときには、設定値を大きくしてください。薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには設定値を小さくしてください。
斜め給紙軽減	オン	メディアセット時に本機が行うメディアの斜行（斜め給紙）を軽減させるための補正動作を行う（[オン]）/行わない（[オフ]）を選択します。通常は [オン] のまま使用します。斜め給紙軽減動作によりメディアにローラーの跡が付くときは [オフ] に設定します。
	オフ	
貼り付き防止	オン	本機の電源を入れたときや印刷開始時などにメディアの貼り付き防止動作を実行する（[オン]）/しない（[オフ]）を選択します。通常は [オフ] のまま使用します。極薄のメディアなど、メディアの種類によってはプラテンに貼り付きやすいものがあります。メディアがプラテンに貼り付いた状態で動作を開始すると、メディアが正常に送られずメディア詰まりの原因となります。そのときは、[オン] に設定してください。[オン] に設定すると、動作時間が長くなります。
	オフ	
巻き取りテンション*1	Lv1～Lv6	印刷中にメディアにしわが発生するとき、または巻き取ったメディアの裏側にインクが付着するときは、設定値を小さくすることをお勧めします。巻き取ったメディアのたるみが大きいときは、設定値を大きくすることをお勧めします。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
ムラ低減調整	オフ	通常は、[オフ] のまま使用します。印刷結果に縦や斜め方向の濃淡ムラが発生したときに設定すると、ムラが目立たなくなることがあります。
	弱	
	中	
	強	

* 1 自動巻き取りユニット装着時に限り表示されます。

プリンターのお手入れメニュー

設定項目		説明
プリントヘッドのノズルチェック		パターンを印刷してプリントヘッドのノズルの状態を確認します。印刷したチェックパターンを目視で確認し、欠けがあるときは、[プリントヘッドのクリーニング]を行います。 詳細は、以下をご覧ください。 🔗 「プリントヘッドのノズルチェック」54 ページ
プリントヘッドのクリーニング		
おまかせクリーニング		プリントヘッドのクリーニングを実施します。最初は、[おまかせクリーニング]を実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは[クリーニング(弱)]、[クリーニング(強)]の順に実施してください。 🔗 「プリントヘッドのクリーニング」55 ページ
クリーニング(弱)		
クリーニング(強)		
部品清掃	プリントヘッド	選択した部品の清掃を開始します。清掃方法の詳細は、以下をご覧ください。 🔗 「プリントヘッドの清掃」51 ページ 🔗 「キャップとワイパーの清掃」46 ページ
	キャップ/ワイパー	
廃インクボトル交換		操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、このメニューから行います。 🔗 「任意の時期に交換したいとき」51 ページ
カッターの交換		カッターの交換を開始します。交換時の注意などは、以下をご覧ください。 🔗 「カッターの交換」53 ページ

消耗品情報メニュー

各消耗品の消耗度と型番を表示します。
🔗 [「消耗品とオプション」83 ページ](#)

交換部品情報メニュー

設定項目	説明
エアユニット	交換するときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 🔗 「お問い合わせ先」93 ページ
インクダンパーユニット	
インク供給ユニット*1	
インク供給ユニット(左)*2	
インク供給ユニット(右)*2	
ポンプキャップユニット	
インクチューブ	

*1 SC-F6450 のみ表示されます。

*2 SC-F6450H のみ表示されます。

情報確認メニュー

設定項目		説明
ファームウェアバージョン	プリンター	選択した情報の表示を行います。 本機に付属の Epson Edge Dashboard でプリンター名を設定したときは、[プリンター名] にその名称が表示されます。
	自動巻き取りユニット*	
プリンター名		
フェータルエラー履歴		
稼働実績	総印刷面積	
	総メディア送り量	
	総キャリッジパス数	
自動巻き取りユニット*		

*自動巻き取りユニット装着時のみ

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
自動巻き取りユニットの紙管にメディアが貼り付けられていません。貼り付けてください。	<p>自動巻き取りユニットに正しくメディアが巻き取られていません。自動巻き取りユニットの Auto スイッチを Off にして、以下の作業をしてください。</p> <p>メディア先端が巻き取り紙管から外れているとき</p> <p>① メディアの先端を粘着テープで巻き取り紙管にしっかり貼り付けます。巻き取り方向により貼り付け方が異なります。 ☞ 「自動巻き取りユニットへのセット」 31 ページ</p> <p>② 自動巻き取りユニットの Auto スイッチを巻き取り方向に応じて Backward/Forward 側にセットしたら、[OK] を押します。</p> <p>メディアを巻き取って印刷している途中でエラーが表示されたとき</p> <p>① 操作パネルの【】ボタンを押してメディアを送り出し、はさみ、または市販のカッターを使って印刷終端でメディアを切ります。</p> <p>② 巻き取ったメディアを取り外します。 ☞ 「巻き取ったメディアの取り外し方」 34 ページ</p> <p>③ 新たに巻き取り紙管をセットしてメディアの先端を粘着テープでしっかり貼り付けます。 ☞ 「自動巻き取りユニットへのセット」 31 ページ</p> <p>④ 自動巻き取りユニットの Auto スイッチを巻き取り方向に応じて Backward/Forward 側にセットしたら、[OK] を押します。</p>
自動巻き取りユニットを認識できません。電源を切り、自動巻き取りユニットが正しく接続されているか確認してください。	<p>自動巻き取りユニットの接続ケーブルを正しく接続し直してから、本機の電源を入れ直してください。 ☞ 「セットアップガイド」 (冊子)</p>
自動巻き取りユニットを認識できません。自動巻き取りユニットは取り付けられていますか？	<p>自動巻き取りユニットが接続されていません。自動巻き取りユニットの接続ケーブルを正しく接続し直してから、[はい] を選択し、本機の電源を入れ直してください。 ☞ 「セットアップガイド」 (冊子)</p> <p>自動巻き取りユニットを使用しないときは、[いいえ] を選択します。</p>
対応していないサイズのメディアがセットされています。	<p>不適切な幅のメディアをセットしました。[次へ] を押してからメディアを取り除いてください。</p> <p>本機で使用可能な最小メディア幅は 254mm です。254mm 以上の幅のメディアをセットしてください。</p> <p>適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示される場合は、プリンター設定メニューの [メディア幅自動検出] を [オフ] にすると印刷を実行できることがあります。 ☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ</p>
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	<p>IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からないときは、ネットワーク管理者に確認してください。</p>
Recovery Mode	<p>ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターとプリンターを USB 接続します (リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません)。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 <p>詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。</p>

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール:部品寿命間近 XXXXXXXX	<p>本機の交換部品の交換時期が近付きました。すぐにお買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」(メンテナンスコール番号)を必ず伝えてください。</p> <p>エプソンソリューションコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」 93 ページ</p> <p>メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、プリンターエラーが発生します。</p>
メンテナンスコール:部品寿命到達 XXXXXXXX	
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	<p>プリンターエラーは以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき <p>プリンターエラーが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクタから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。</p> <p>再び同じ番号のプリンターエラーが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」(プリンターエラー番号)を必ず伝えてください。</p> <p>エプソンソリューションコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」 93 ページ</p>

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

- **コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェースケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

- **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**
インターフェースケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
[☞ 「システム条件」 87 ページ](#)

- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクタに USB ケーブルを直接接続してください。

- **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

- **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

プリンター側でエラーが発生している

- **操作パネルの画面のメッセージで確認します。**
[☞ 「操作パネル」 12 ページ](#)
[☞ 「メッセージが表示されたとき」 73 ページ](#)

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

- **本機の動作確認をしてください。**
ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。
[☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ](#)
ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

- **操作パネルの画面に【モーター自動調整中】というメッセージが表示されていますか？**
内部のモーターを調整していますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

■ **プリントヘッドのクリーニングをしてください。**

ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドのクリーニングを行ってから再度ノズルチェックパターンを印刷してください。

🔗 [「プリントヘッドのクリーニング」55 ページ](#)

■ **本機を長期間使用していなかったのではありませんか？**

本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。

本機を長期間使用しなかったときの処置 🔗 [「使用しないときのご注意」18 ページ](#)

印刷品質/印刷結果のトラブル

横スジが入る・色がおかしいとき



印刷結果の不具合が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

1. プリントヘッドのクリーニングの実施

プリントヘッドのクリーニングには、[おまかせクリーニング]、[クリーニング (弱)]、[クリーニング (強)] の3種類があります。

最初は、[おまかせクリーニング] を実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは [クリーニング (弱)]、[クリーニング (強)] の順に実施してください。

[🔗 「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ](#)



プリントヘッドのクリーニングを3回繰り返しても印刷結果が改善されないとき

2. キャップとワイパーの清掃の実施

付属のメンテナンスキットを使って清掃をします。清掃を行う前に以下をご覧ください。

[🔗 「準備するもの」 45 ページ](#)

[🔗 「メンテナンス作業時の注意」 45 ページ](#)

清掃手順 [🔗 「キャップとワイパーの清掃」 46 ページ](#)

清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[🔗 動画マニュアル](#)

それでも印刷品質が改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご連絡ください。

エプソンソリューションコールセンターの連絡先 [🔗 「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

インクのボタ落ちが生じるとき



印刷結果の不具合が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

1. プリントヘッドのクリーニングの実施

プリントヘッドのクリーニングには、【おまかせクリーニング】、【クリーニング（弱）】、【クリーニング（強）】の3種類があります。

最初は、【おまかせクリーニング】を実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは【クリーニング（弱）】、【クリーニング（強）】の順に実施してください。

[🔗 「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ](#)



プリントヘッドのクリーニングを3回繰り返しても印刷結果が改善されないとき

2. プリントヘッドの清掃を実施

付属のヘッドクリーンキットを使って清掃をします。清掃を行う前に以下をご覧ください。

[🔗 「準備するもの」 45 ページ](#)

[🔗 「メンテナンス作業時のご注意」 45 ページ](#)

清掃手順 [🔗 「プリントヘッドの清掃」 51 ページ](#)

清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[🔗 動画マニュアル](#)

それでも印刷品質が改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご連絡ください。

エプソンソリューションコールセンターの連絡先 [🔗 「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ

■ プリントヘッドの位置調整をしましたか？

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、プリントヘッドの位置調整をしてください。

☞ 「プリントヘッドの位置調整」 36 ページ

■ インクパックは推奨品（当社純正品）を使用していますか？

本機は、純正インクパックの使用を前提に設計されています。指定以外のインクパックを使用すると、印刷品質に悪影響が出ることがあります。本書で指定した純正インクパックを使用することをお勧めします。

■ 古くなったインクパックを使用していませんか？

古くなったインクパックを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクパックを使用してください。インクは、インクパックに記載の推奨使用期限までに使い切ってください。

■ メディア選択は正しいですか？

ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

■ 印刷中にプリンターカバーを開けませんでしたか？

印刷中にプリンターカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はプリンターカバーを開けないでください。

■ インクパックをかくはんしてください。

インクが沈降（成分が液の底に沈んでたまること）している可能性があります。インクパックを取り外してかくはんしてください。

☞ 「インクパックの定期かくはん」 48 ページ

印刷位置がずれる/はみ出す

■ 印刷範囲を指定していますか？

アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

■ メディアが斜行していませんか？

本体設定メニューの「斜行エラー検出」が「オフ」になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。本体設定メニューで「斜行エラー検出」を「オン」に設定してください。

☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ

■ 印刷データはメディア幅に納まっていますか？

印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、本体設定メニューの「メディア幅自動検出」が「オフ」になっているとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。

☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ

罫線が左右にガタガタになる

■ プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、プリントヘッドの位置調整をしてください。

☞ 「プリントヘッドの位置調整」 36 ページ

印刷面がこすれる/汚れる

■ メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で利用できる仕様のメディアかどうかを確認してください。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ メディアにしわや折り目がありませんか？

古いメディアや折り目のあるメディアは使用しないでください。新しいメディアを使用してください。

■ プリントヘッドが印刷面をこすっていますか？

メディアの印刷面をこすってしまうときには、メディア設定メニューの「プラテンギャップ設定」を広げるように設定してください。

☞ 「メディア設定メニュー」 68 ページ

- **プリントヘッドがメディアの先端をこすっていませんか？**
 プリンター設定メニューの [先端余白] を多めに設定してください。
[☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

- **メディアの後端がこすれていませんか？**
 印刷データの内容によっては印刷面の後端がこすれてキズが残ることがあります。このようなときは、メディア設定メニューの [ページごとの乾燥時間] の設定を長めにしたり、プリンター設定メニューの [ページ間余白] を大きくしたり、RIP で印刷データの後端に余白を付けてください。
[☞ 「メディア設定メニュー」 68 ページ](#)
[☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)
[☞ 「印刷可能領域」 40 ページ](#)

- **プリンターの内部が汚れていませんか？**
 ローラーに汚れが付いた可能性があります。給排紙をして、ローラーを清掃してください。
[☞ 「プラテンを清掃しても印刷面に汚れが付くとき」 48 ページ](#)

印刷したメディアの裏側が汚れる

- **メニューのメディア幅自動検出をオンに設定してください**
 印刷イメージがメディア幅より大きいと、通常は印刷が停止しますが、本体設定メニューの [メディア幅自動検出] が [オフ] になっているとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。
 変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されません。
[☞ 「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

- **印刷面のインクは乾いていますか？**
 印刷の濃さやメディア種類によっては、インクが乾きにくいことがあります。印刷面が乾いてからメディアを重ねてください。

給紙ミス/排紙のトラブル

給紙・排紙がうまくできない

- **メディアのセット位置は正しいですか？**
 メディアを正しい位置にセットしてください。
[☞ 「メディアのセット」 28 ページ](#)
 メディアが正しくセットされているときは、使用しているメディアの状態を確認してください。

- **メディアにカールや折れ、曲がり、しわ、波打ちが見られませんか？**
 カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットし、取り除いてお使いください。
[☞ 「メディアのカット」 34 ページ](#)
[☞ 「セットしたメディアの設定」 29 ページ](#)

- **メディアは、印刷直前にセットしましたか？**
 メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付いたり、メディアが波打ったり、反ったりします。

- **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**
 - 本機で利用できる仕様のメディアか確認してください。
[☞ 「使用可能なメディア」 85 ページ](#)
 - ソフトウェア RIP を使用して印刷するときの設定方法は、RIP の製造元にお問い合わせください。

- **吸着力が強くないですか？**
 排紙不良が続くときは、[吸着力]（給紙経路にメディアを吸着する力）を下げてみてください。
[☞ 「メディア設定メニュー」 68 ページ](#)

メディアが詰まった

操作パネルの画面のエラー表示を確認し、表示された手順に従ってメディアを取り除いてください。



メディアを取り除いた後、以下の画面で [印刷中止] を押すと、印刷ジョブが破棄されます。最初から印刷をやり直すときに押してください。

[終了] を押してメディアをセットし直すと残りの印刷データが印刷されます。



その他

操作パネルの画面表示が消える

- **スリープモードになっていませんか?**
設定メニューの [スリープ移行時間設定] で設定している時間を超えて本機で作業しないとスリープモードになります。スリープモードに移行する時間は本体設定メニューで変更できます。
🔗 [「本体設定メニュー」 61 ページ](#)

黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

- **プリントヘッドのクリーニングではカラーインクも消費されています。**
[プリントヘッドのクリーニング] を実行すると、全色のインクが消費されます。

メディアがきれいに切り取れない

- **カッターを交換してください。**
メディアがきれいに切り取れなくなったときやカット部が毛羽立つときには、カッターを交換してください。
🔗 [「カッターの交換」 53 ページ](#)

本体内部が光っている

- **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

管理者パスワードを忘れた

- **エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。**
🔗 [「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

電源を入れるとプリントヘッドのクリーニングが実施される

- 本機を長期間使用しなかったときは、電源を入れると良好な印刷品質を保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されることがあります。プリントヘッドのクリーニングが終了するまでに 5~7 分程かかります。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくとお消できることがあります。

エプソンのウェブサイトの Q&A

エプソンのウェブサイト (<http://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (<http://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

ファームウェアのアップデートは Epson Edge Dashboard で簡単に行えます。詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトを確認しても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

 [「サービス・サポートのご案内」 91 ページ](#)

付録

最新の情報は、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。(2022年9月現在)

消耗品とオプション

インクパック

SC-F6450

	商品名	型番
インクパック	高濃度ブラック	SC28HDKP
	シアン	SC28CP
	マゼンタ	SC28MP
	イエロー	SC28YP
	スターターインクセット	SCF64SK

SC-F6450H

	商品名	型番
インクパック	高濃度ブラック	SC28HDKP
	シアン	SC28CP
	マゼンタ	SC28MP
	イエロー	SC28YP
	ライトシアン	SC28LCP
	ライトマゼンタ	SC28LMP
	オレンジ	SC28ORP
	バイオレット	SC28VP
	蛍光イエロー	SC28FYP
	蛍光ピンク	SC28FPP
	スターターインクセット	SCF64SK

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品の指定されたインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

その他

商品名	型番	備考
自動巻き取りユニット	SCF63ARFU	印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。
ロール紙アダプター	SCF63RPA	製品付属のアダプターと同等品です。
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
ヘッドクリーンキット	SC6HCK	プリントヘッドの清掃に使用します。
メンテナンスキット	SC5MKIT3	製品付属のメンテナンスキットと同等品です。
ペーパーカッター替え刃	SCSPB2	交換用のカッターです。

使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧ください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認してください。

！重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

ロールメディア

紙管サイズ（芯径）	2 インチ、3 インチ
ロール外径	150mm 以内
メディア幅*	254mm（10 インチ）～ 1118mm（44 インチ）
メディア厚さ	0.08 ～ 0.5mm

* 自動巻き取りユニット使用時は、432mm（17 インチ）～ 1118mm（44 インチ）

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。段差のあるフロア、別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。

☞ [「輸送の方法」 85 ページ](#)

⚠ 注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

移動の準備

移動の際は、事前に以下の準備を行い、移動してください。

- 本機の電源を切り、全ての配線を外してください。

- 廃インクボトルを搭載している機種は、インクが垂れないように新しい廃インクボトルを取り付けてください。
- メディアを取り外してください。
- オプションを装着しているときは、オプションを取り外してください。
- スタンドのロックを解除してください。

移動後の本機の設定

移動後は以下の設定を行い、使用可能な状態にしてください。

- 設置に適した場所か確認して、セットアップを行います。
☞ [「セットアップガイド」](#)（冊子）
- 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。
☞ [「セットアップガイド」](#)（冊子）
- ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。
☞ [「プリントヘッドのノズルチェック」 54 ページ](#)
- プリントヘッドの位置調整を実行して、印刷品質を確認します。
☞ [「プリントヘッドの位置調整」 36 ページ](#)

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご相談ください。エプソンソリューションコールセンター連絡先 ☞ [「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

メディアタイプごとのメディア設定値一覧

メディアタイプを選択すると登録されるメディア設定値は下表のとおりです。

設定項目	メディアタイプ		
	薄手	中薄	厚手
パスごとの乾燥時間	0.0 秒	0.0 秒	0.0 秒
ページごとの乾燥時間	0.0 分	0.0 分	0.0 分
プラテンギャップ設定	2.0	2.0	2.0
吸着力	Lv5	Lv5	Lv5
搬送テンション	Lv5	Lv1	Lv1
巻き取りテンション*	Lv2	Lv2	Lv2
斜め給紙軽減	オン	オン	オン
貼り付き防止	オフ	オフ	オフ
ムラ低減調整	オフ	オフ	オフ

* 自動巻き取りユニット装着時に限り有効です。

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2022年9月現在）

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

Epson Edge Dashboard

！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。
条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 / Windows 7 x64 SP1 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 10 / Windows 10 x64 Windows 11
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS X 10.7 Lion 以降
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Safari 6 以降

Epson Edge Print

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 x64 Windows 8 x64 Windows 8.1 x64 Windows 10 x64 Windows 11
CPU	Intel® Core™ i3 3.0 GHz 以上 (2014 年 4 月以降に発表されたもの)
空きメモリー領域	8GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	50GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。
また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数 GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十 GB になることがあります。
このため、ハードディスクの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

Web Config

対応ブラウザは以下の通りです。ブラウザは最新バージョンを使用してください。

Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	SC-F6450: 400 ノズル×2 列×4 色 (高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
	SC-F6450H: 400 ノズル×1 列×6 色 (高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン/蛍光ピンク/バイオレット、ライトマゼンタ/蛍光イエロー/オレンジ)
解像度 (最大)	600x1200dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター (コマンドは非公開)
メディア送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	1GB
インターフェイス	SuperSpeed USB 100Base-TX/1000Base-T *1
定格電圧	AC100 - 240V
定格周波数	50/60Hz
定格電流	1.0 - 0.5A
消費電力	
動作時	約 65W
スリープモード時	3.0W 以下
電源オフ時	0.4W 以下
温度・湿度 (結露しないこと)	
動作時	10 ~ 35°C、20 ~ 80% 推奨: 15 ~ 25°C、40 ~ 60%
保管時 (開梱前)	-20 ~ 60°C、5 ~ 85% (60°Cの場合 120 時間以内、40°Cの場合 1 カ月以内)
保管時 (インク充填前)	-20 ~ 40°C、5 ~ 85% (40°Cの場合 1 カ月以内)
保管時 (インク充填後)	5~35°C、5~85%

本体仕様	
温度・湿度範囲 グレー部: 動作時 斜線部: 推奨	
外形サイズ	
収納時	本体: 幅 1608 × 奥行き 745 × 高さ 1128mm 自動巻き取りユニット装着時: 幅 1608 × 奥行き 916 × 高さ 1128mm
最大時	本体: 幅 1608 × 奥行き 745 × 高さ 1206mm 自動巻き取りユニット装着時: 幅 1608 × 奥行き 916 × 高さ 1206mm
質量	
SC-F6450	120kg*2
SC-F6450H	140kg*3

- *1 シールドツイストペアケーブル(カテゴリー 5e 以上) を使用してください。
- *2 インクパック、自動巻き取りユニット含まず。
- *3 インクパック含まず。自動巻き取りユニット含む。

自動巻き取りユニット仕様*	
メディア幅	432mm (17 インチ) ~ 1118mm (44 インチ)
メディア外径	3 インチ芯:150mm 以内
総重量	約 13kg
温度・湿度 (結露しないこと)	推奨:15 ~ 25 °C、40 ~ 60 % 動作時:10 ~ 35 °C、20 ~ 80 %
定格電圧	AC100 - 240V
定格周波数	50/60Hz
定格電流	1.0 - 0.5A
消費電力	動作時:約 5.4W スリープモード時:約 2.8W 電源オフ時:約 0.45W

*SC-F6450 はオプションです。

インク仕様	
形態	専用インクパック
昇華転写インク	SC-F6450: 高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
	SC-F6450H: 高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、蛍光ピンク、蛍光イエロー、バイオレット、オレンジ
有効期限	インクパックに記載された期限(常温で保管)
印刷品質保証期限	1 年 (プリンター装着後)
保管温度	5 ~ 35 °C
外形寸法 (約)	幅 180 × 長さ 410 × 高さ 30mm
容量	1600ml

参考

安定した色合いで印刷したいときは、15 ~ 25 °Cの環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

!重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず『オンラインマニュアル』をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後7年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

[🔗 「お問い合わせ先」 93 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	<ul style="list-style-type: none"> • 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後その都度お支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうかかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単：ウェブサイトが必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2022.03

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。